

千葉市立高等学校改革の評価・検証

～ 最終まとめ ～

資料編 各種調査の結果

平成26年3月

千葉市教育委員会

目 次

資料編 各種調査の結果

1 市立千葉高校	1～19
(1) 基本調査結果	1
(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果	3
(3) 聞き取り調査結果	4
(4) アンケート調査結果	7
2 市立稲毛高校・附属中学校	20～41
(1) 基本調査結果	20
(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果	25
(3) 聞き取り調査結果	27
(4) アンケート調査結果	29

千葉市立高等学校改革の評価・検証 ～最終まとめ～ 本編

I 千葉市の高等学校改革	1～7
1 改革の背景・経過	1
2 千葉市の高等学校改革の概要	2
II 評価・検証の目的と進め方	4
1 目的	4
2 進め方	4
(1) 評価・検証の年度（中間まとめと最終まとめ）	4
(2) 「千葉市立高等学校改革 評価・検証研究会」	4
(3) 各種調査（平成25年度）	5
III 改革の成果と課題	8～19
1 市立千葉高校	8
2 市立稲毛高校・附属中学校	13
IV 最終まとめを終えて	20～22
1 中間まとめにおける改革の課題への対応	20
2 改革の成果	20
3 課題	21
4 今後の方向性	22
平成25年度千葉市立高等学校改革 評価・検証研究会	23

1 市立千葉高校

(1) 基本調査結果

ア 生徒数等（各年度5月1日現在）

【クラス数】

	平成16年度			平成22年度			平成25年度		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
普通科	8	8	8	7	7	7	7	7	7
理数科	1	1	1	1	1	1	1	1	1
学年合計	9	9	9	8	8	8	8	8	8
学校合計	27			24			24		

【生徒数】

		平成16年度			平成22年度			平成25年度		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
普通科	1年	177	145	322	140	144	284	161	125	286
	2年	166	158	324	154	131	285	142	143	285
	3年	167	152	319	162	116	278	118	162	280
	合計	510	455	965	456	391	847	421	430	851
理数科	1年	30	10	40	32	7	39	28	12	40
	2年	29	11	40	29	11	40	22	18	40
	3年	30	10	40	24	15	39	27	12	39
	合計	89	31	120	85	33	118	77	42	119
学校合計		1085		965		970				

【入学者選抜】

		平成16年度	平成22年度	平成25年度	
入学志願 倍率	特色 &前期	普通科	3.75	3.86	2.66
		理数科	5.50	3.90	3.17
	学力 &後期	普通科	1.30	2.34	1.71
		理数科	1.50	2.64	2.88

【居住区別生徒数】

			中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	他市町村	合計
平成 16 年度	1年	普通科	63	56	55	43	53	52	0	322
		理数科	2	2	3	1	4	3	25	40
	2年	普通科	47	48	80	53	55	40	1	324
		理数科	3	0	4	4	1	0	28	40
	3年	普通科	51	46	67	59	52	42	2	319
合計	理数科	3	2	4	4	3	4	20	40	
	普通科	161	150	202	155	160	134	3	965	
	理数科	8	4	11	9	8	7	73	120	
平成 22 年度	1年	普通科	55	44	62	39	40	44	0	284
		理数科	3	4	0	2	5	2	23	39
	2年	普通科	47	46	52	26	72	42	0	285
		理数科	4	3	8	4	1	2	18	40
	3年	普通科	48	33	60	39	54	43	1	278
合計	理数科	4	2	1	3	3	1	25	39	
	普通科	150	123	174	104	166	129	1	847	
	理数科	11	9	9	9	9	5	66	118	
平成 25 年度	1年	普通科	52	35	53	49	45	51	1	286
		理数科	2	2	1	1	0	3	31	40
	2年	普通科	50	62	51	26	36	59	1	285
		理数科	0	3	3	2	3	3	26	40
	3年	普通科	34	53	53	38	38	62	2	280
合計	理数科	2	2	3	2	2	2	26	39	
	普通科	136	150	157	113	119	172	4	851	
	理数科	4	7	7	5	5	8	83	119	

【職員数】

		平成16年度	平成22年度	平成25年度
実働職員 (臨任含む)	全職員	68	72	73
	生徒指導部職員	9	9	8
	進路指導部職員	9	10	11
	教務部職員	9	11	13
	数学科職員	10	12	13
	理科職員	11	12	12

【部活動】

	平成16年度			平成22年度			平成25年度		
	部活数	参加数	参加率	部活数	参加数	参加率	部活数	参加数	参加率
運動系	16	600	55.3%	16	622	64.5%	16	643	66.3%
文化系	18	239	22.0%	17	265	27.5%	17	301	31.0%
合計	34	839	77.3%	33	887	91.9%	33	944	97.3%

【進路】

				平成16年 (平成15年度卒)	平成22年 (平成21年度卒)	平成25年 (平成24年度卒)
大学	国公立	男子		15	21	32
		女子		5	18※	15
		合計	人数	20	39※	47
		対卒業生率	5.5%	12.3%	14.7%	
	私立	男子		79	94	73
		女子		84	98	113
合計		人数	163	192	186	
	対卒業生率	45.0%	60.4%	58.3%		
短期大学	男子		1	1	0	
	女子		18	3	3	
	合計	人数	19	4	3	
		対卒業生率	5.2%	1.3%	0.9%	
専門学校	男子		6	1	1	
	女子		13	1	1	
	合計	人数	19	2	2	
		対卒業生率	5.2%	0.6%	0.6%	
就職	男子		1	0	0	
	女子		1	0	1	
	合計	人数	2	0	1	
		対卒業生率	0.6%	0.0%	0.3%	
未定 (次年進学希望等)	男子		93	54	64	
	女子		46	27	16	
	合計	人数	139	81	80	
		対卒業生率	38.4%	25.5%	25.1%	

※合格者は女子19人、合計40人だが、1人は入学辞退。

イ 教育課程(普通科)

		改革前 (平成18年度入学生用教育課程)	改革後 (平成22年度入学生用教育課程)	現行 (平成24年度入学生用教育課程)	
課程・学科		全日制・普通科			
学校 設定 科目 数	国語	/	全日制・普通科(単位制)	4科目	
	地理歴史		4科目		
	公民		3科目		
	数学		4科目		
	理科		4科目		
	保健体育		1科目		
	外国語		2科目		
	家庭		1科目		
選 択 科 目	1年	a選択(2単位)3科目から1科目選択	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	
	2年	a選択(2単位)3科目から1科目選択	物理Ⅰ・生物Ⅰ・地学Ⅰ(4単位)から1科目選択	化学・生物基礎・地学基礎(2単位)から2科目選択(SSHコースは化学は必須)	
		b選択(4単位)3科目から1科目選択	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ・家庭研究(2単位)から1科目選択	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ・家庭研究(2単位)から1科目選択	
		c選択(2単位)3科目から1科目選択	a選択(2単位)3科目から1科目選択 b選択(2単位)6科目から1科目選択	b選択(2単位)7科目から1科目選択	
	3年	A類型 (文系)	a選択(3単位)11科目から1科目選択 b選択(2単位)8科目から1科目選択 c選択(4単位)4科目から1科目選択	a選択(4単位)7科目から2科目選択	a選択(4単位)8科目から2科目選択
		B類型 (理系)	a選択(3単位)7科目から1科目選択 b選択(3単位)4科目から1科目選択	b選択(3単位)9科目から2科目選択 c選択(2単位)12科目から2科目選択 d選択(2単位)15科目から2科目選択	b選択(3単位)4科目から2科目選択 c選択(2単位)12科目から2科目選択 d選択(2単位)15科目から2科目選択
サイエンスキャンプ講座		1年対象、希望者による選択科目(週1時間)			
大学における学修		2・3年対象、本人の希望をもとに学校の推薦を得た者が履修(週1~2時間)			

(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果

※ (小) 小学校長代表 (中) 中学校長代表

No	項目	小・中学校長代表から	市立千葉高校から
1	理数教育の伝統	第1期SSHの卒業生の活躍状況は？(小)	1期の卒業生は、現在、ドクターコースに進学したぐらいの年齢である。また、高校時代にJSEC2010(高校生による科学研究に関するコンテスト)の協賛社賞(JFEスチール賞)を受賞し、それにより理系大学へ進学した卒業生などがある。
2	教育ニーズ多様化への対応	教職員研修の中での大学との連携は？(小)	SSHの授業のために原書を読んで勉強をしたり、All Englishで理科の授業を展開したりする教員もいる。クロスカリキュラムについて、大学の協力を得て教員が研修している場合もある。また、予備校などの授業研修に参加し、教科指導力の向上を目指している教員もいる。
		広い意味でのキャリア教育について伺いたい。(中)	生徒は大学進学希望が多いため、学部学科研究や講義体験などを行っている。SSH事業による外部機関との連携をすることもキャリア教育の一環になっている。 また、数は少ないが、市役所、県庁などでのインターンシップに参加する生徒もいる。
		習熟度別授業などの展開はどうなっているのか。(中)	数学などで実施しており、生徒の学力向上に効果が見られている。
3	小中学校現場や地域へのアピール	先進的な理数教育をもっと(中学等に)知ってもらおうと良いのでは？(中)	市内の先生方の研究組織「千葉市教育研究会」における夏の理科部会を本校で実施し、127名の中学の先生方が来校した。今後もこのような機会を増やしていきたいと考えている。
		モノレール車内に生徒の作品を掲示発表したのは良いアイデアだと思う。(中)	平成24年度のSSH運営指導委員会特別委員の市長の提案に基づき、実施しており、非常に好評を得たため、8月の車内掲示に加え、9月に千葉駅コンコースで掲示発表を実施した。
		市立の高校なので「ちば市政だより」など利用してアピールをしてはどうか？(中)	「市政だより」は、市政全体の情報なので高校の内容を掲載するのは限界がある。「教育だよりちば」の活用などで、市立高校の情報掲載を増やせたら良いと思う。
		文化祭は高校の内容を見る良い機会であるが、市立両校とも7月に実施している。その頃は、中3生は最後の総合体育大会前で見学しにくい。(中)	進学校は高3の夏休みを大学受験に向けた大切な時期ととらえ、センター試験に間に合わせるためにも7月に文化祭を実施してしまう傾向にあるため、今後の検討課題として認識している。

(3) 聞き取り調査結果 対象：市立千葉高校校長・教頭・教務主任等

No	項目	意見
1	進学重点型 単位制高校 について	<p>単位制導入により「教員定数」が増え、学校設定科目を多く設定したり、選択科目を広く開講できたりすることは、生徒の進学に有効であり、進路意識改革につながっている。</p>
		<p>市立高校改革の立ち上げ当初は、「単位制」は目新しいものだったが、現在は、かなり多くの高校で実施している。「進学重視型」も県立の多くの単位制高校に見られる。何らかの工夫が必要かもしれない。「2期制の単位半期認定」の導入や、大学などとのSSH講座を10単位分程度「学校外の学修」の単位として認定するなどを検討してもよいと思う。</p> <p>また、千葉大学の飛び級が2年修了時に加え、3年秋も可能になるということもあり、半期認定を導入したら有効に機能すると思われる。</p>
		<p>選択科目が多く、生徒が自分で選ぶには指導が必要である。その点、市立千葉は類型に分けて、選択の道筋を示していることが有効に作用している。</p>
		<p>ガイダンスカウンセリングは、教務担当者が中心に行っている。科目選択のしおりを1年次より配布し、実際の選択では、進路の方向性に従い選択科目の類型化により対応している。</p>
		<p>授業を1日6限から7限にしたことが、生徒の進路意識の高揚につながっている。また、選択科目や少人数授業は、職員数により制約があるが、成果は上がっている。国公立大の合格者も20人台から40人台に伸び、今年度も47人が合格している。現役進学率も50%台から75%程度に伸びた。</p>
		<p>単位制への移行と生徒指導面の関係はわからないが、最近、生徒の生活行動や服装面は落ち着いている。進学重視をしたことの結果なのか、生徒そのもの変化なのかは不明である。</p>
2	理数教育 の伝統	<p>第1期SSHの連携講座の成果から、第2期SSHは、プレゼンテーションやネイティブ実習助手による言語活動を充実させており、市立高校のメリットである市の施設との連携なども、着実に進んでいる。具体的には外国人理科実習助手・留学生ティーチングアシストを導入し、英語での理科授業及びプレゼンテーションが行なわれ、国際的な視野に立てる人材の育成に役立っている。また、第2期SSHにおいては、今年度、普通科SSHコースが始まり、次年度には全学年でクロスカリキュラム※を展開する予定である。なお、全校的な取組として、徐々に理数以外の教科担当にも理解が進んでいる。</p>
		<p>「SSHの市立千葉」というイメージが外部に広がりつつある。</p> <p>また、校内でもSSHが共通認識の柱になってきている。理科以外の教科でも、外部人材を活用する取組などを行う教員が出て来ており、よい意味でSSHが学校の刺激になっている。外部の力を借りるノウハウが浸透し始めており、消費生活センターや弁護士が授業に加わるといった例が見られる。ただし、中心になっている職員は忙しい。仕事を割振りしきれない状況もあり、どこまで関わって良いかが難しい状況がある。</p>

※クロスカリキュラム：ここでは全ての教科にサイエンスの切り口を取り込み、教科・科目の垣根を超え、教員の特質を生かした、より専門性の高い授業を学校全体で行うことを示す。

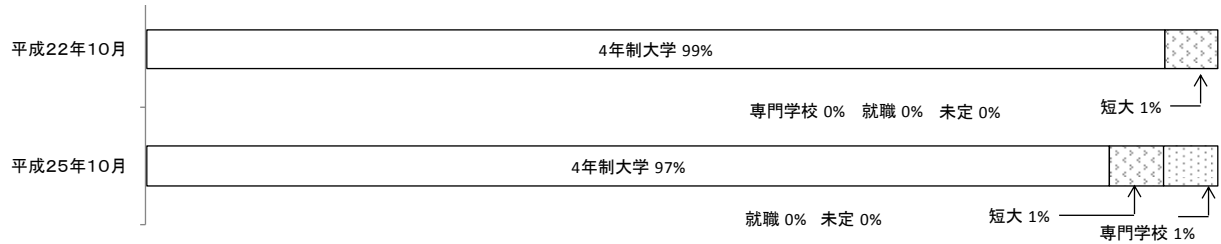
		<p>理数の市立千葉、国際の市立稲毛、両校の学校経営の特徴が受検生や保護者に分かりやすい。県内のSSH校の中でも市立千葉は、全国的に有名である。市立という行政に近い環境で教育活動を実施できることが、その一つの要因であり、更に、理数系の伝統もSSHに磨きをかけている。</p> <p>ただし、担当教員の負担と人材の確保が課題である。SSHを進めるには、専門性、調整能力、指導力のある教員が必要であり、県立高校のように教員の公募をかけられないだろうか。また、フィールドワークに十分な引率教員を配置できるよう予算化をお願いしたい。</p> <p>クロスカリキュラムに興味・関心を持っている生徒が多いことから、今後、理系・文系を問わず広げていく予定である。普通科の生徒でも、クロスカリキュラムの課題研究を大学入試の際に生かす生徒が出てきている。</p> <p>現在の2・3年生は、第2期SSH指定の前の入学者であり、1年生は、採択後の入学者である。そのため理科に対する意識に若干の差はある。そういう意味でも、今後、第2期SSHが終了後に理数教育の成果や伝統をどのように継承していくかが課題である。</p> <p>理科担当の教員は、とても大変であり、文系担当教員の協力が必要である。教職員の人数は、決まっているので、理数系以外の科目での少人数、習熟度授業を実施することは難しい状況がある。また、全校が理系中心の学校ということではなく、普通科7クラス中4クラスは文系の生徒もいる。SSHを目的に入学する生徒もいるが、極端に多いということではない。</p>
3	<p>中学校現場や地域へのアピールなどについて</p>	<p>市立高校の利点として地域との連携をしやすい環境にあるが、授業公開に関しては、現在、小中台中学校や園生小学校など、近い学校との連携に過ぎない状況もある。県立高校が取り組んでいる「授業練磨」のように、市内小・中学校の先生方に授業を見てもらえる機会を増やしていかると良いと思う。</p> <p>昨年、11月に千葉市クロススクール科学フェスティバルを開催し、千葉市動物公園動物科学館において小学生、中学生、高校生のポスターセッションを実施した。高校生が小・中学生に対して意見を述べるとともに、逆に小学生が予想以上に良い発表をしており、高校生も刺激になった。12月には同科学フォーラムを市立千葉高校で行い、中学生のプレゼンテーション発表を行った。このようなSSH交流会には、小・中学校の先生方にも参加していただいております、小・中学校との重要なパイプづくりになっている。</p> <p>中学へのアピールでは、先生方の会議等を含め、市立千葉高校を利用してもらえようように訴えている。市内の先生方の研究組織「千葉市教育研究会」における夏の理科部会を本校で実施し、中学校の127名の先生方に来校いただいた。小・中学校が秋休みのときなど、中学生や中学の先生方に見てもらえるように積極的な授業公開を行っていきたい。</p>

		<p>中学へのアピールということも含め、中高の人事交流を進められないか。または、高校の教員が中学の授業に出かけたり、中学の先生に高校の授業に参加してもらったりするなど、中高のクロスカリキュラムも市教委を含め検討したら良いと思う。</p>
		<p>中学校の先生が、高校の内容を知らないケースが多い。授業公開や施設見学がもっと必要だと思う。</p>
		<p>生徒会が主催したクリーンアップ活動や、ダンス部と吹奏楽部及び、合唱部等が参加した小仲台フェスティバル、小仲台地区敬老会、モノレール祭り、稲毛駅前でのコンサートといった外部への活動も行っている。</p>
		<p>SSHの専用ホームページを作るなど、積極的なアピールも行っている。</p>
4	文武両道について	<p>進学校における部活動として、下校時間の配慮や、土日のどちらかは活動を休止するなど、勉強時間を確保することが必要である。その辺をより徹底すると良いと思う。文武両道の伝統は守られていると思う。</p>
		<p>「文武両道」はどこの進学校も掲げている。新しい言葉が必要ではないか。</p>
		<p>全学年、通年で行われている進学補習(朝及び放課後に実施)に多くの生徒が受講しており、夏季休業中にも26講座の進学補習が行われている。</p>
		<p>文武両道は、聞こえは良いが、どっちつかずの感もある。進学重視というわりには、中途半端な気もする。勉強に関してストレスを感じている生徒はあまりいない様子であり、学校を楽しんでいる生徒が多い。反面、部活などでも最後の踏ん張りが効かない面も見受けられ、学習でも最終的に3年になって焦り始める生徒もいる。</p>
5	その他	<p>県立高校は、公募制で職員を集めているが、市立高校で公募にすることはできないのであろうか。もしくは、優秀な中学の先生が高校で教壇に立つことはできないのか。</p> <p>また政令市なので、大学を設置し、その下に市立高校があつて、独自の高大連携教育などという大胆な改革も検討が必要に思う。</p>
		<p>科学都市戦略とのリンクをもっと進める必要がある。互いに補完する部分は大きいと思う。</p>

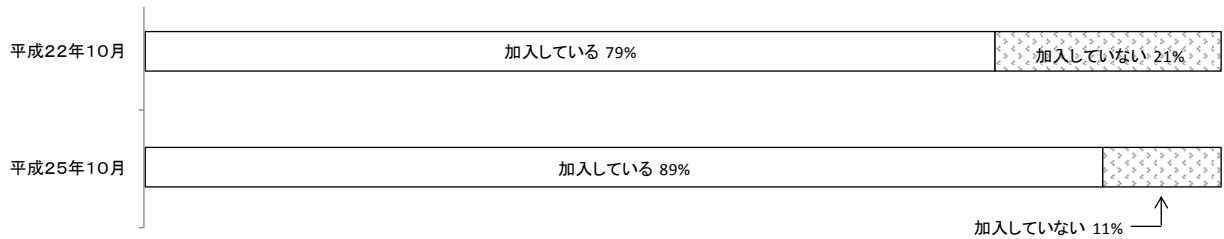
(4) アンケート調査結果

ア 生徒対象（普通科第3学年）

1 高校卒業後の進路希望について

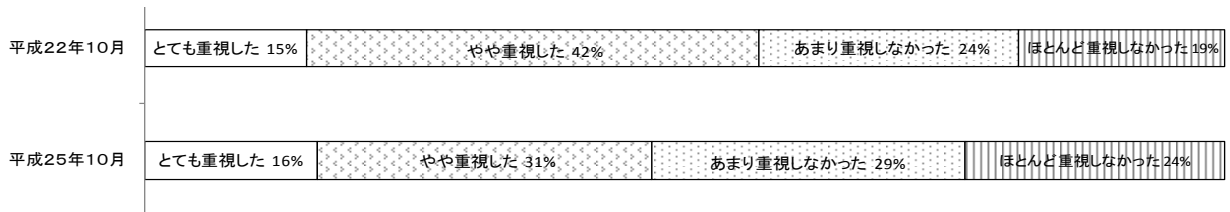


2 部活動に加入しているか。

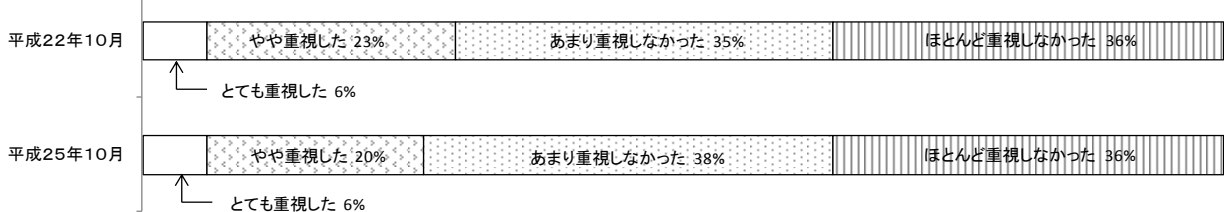


3 中学3年生の時、市立千葉高校普通科を受検するにあたり、次の各項目について、どの程度重視したか。

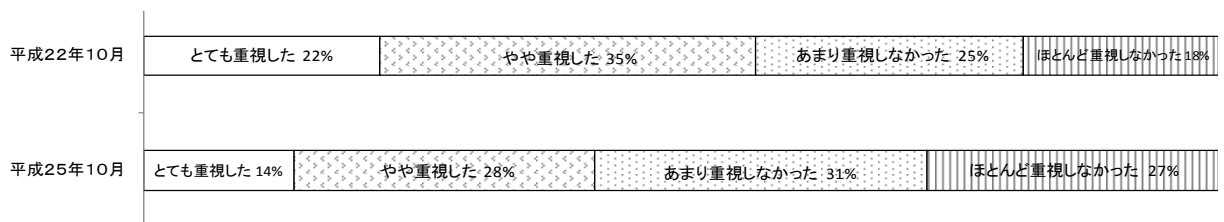
(1) 進学重視型の単位制である。



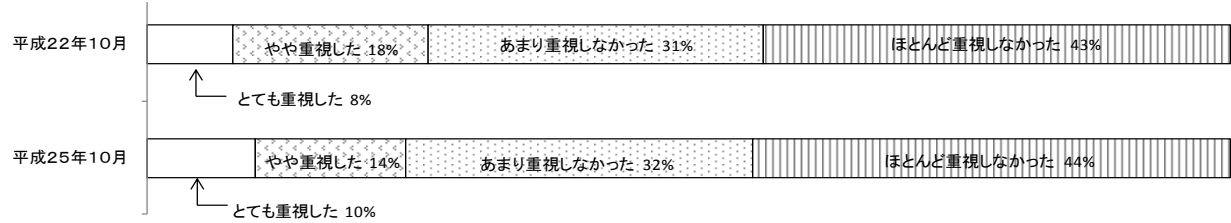
(2) 1日45分7時間授業を行っており授業時数が多い。



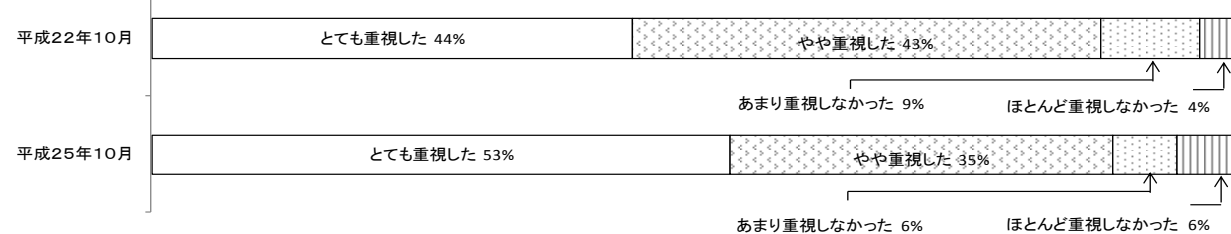
(3) 選択科目が充実しており自分の興味関心・適性・進路希望に応じた学習ができる。



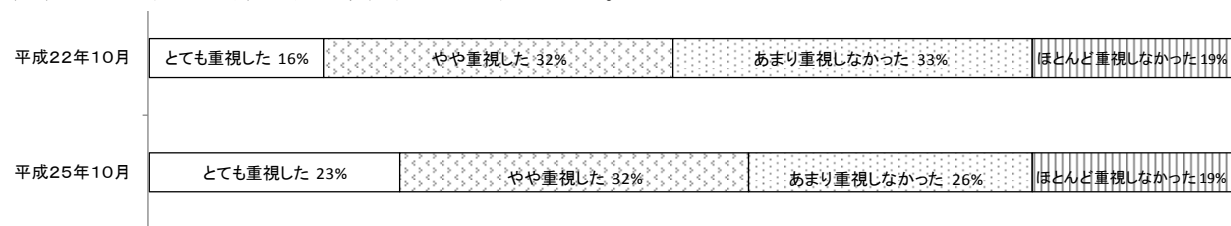
(4) 理数教育が充実している。



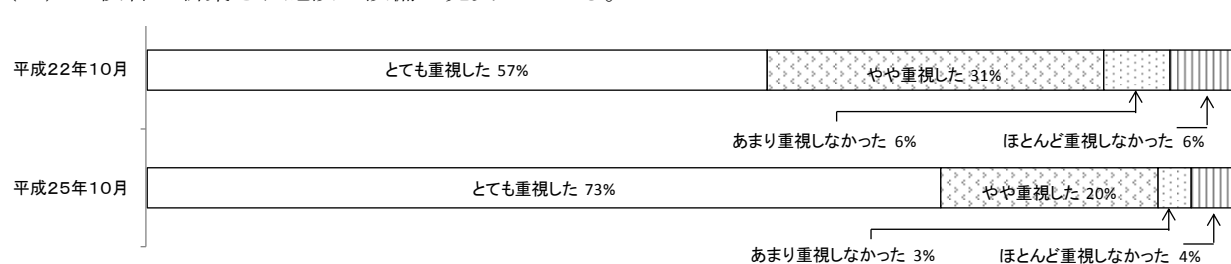
(5) 自分の学力に合っている。



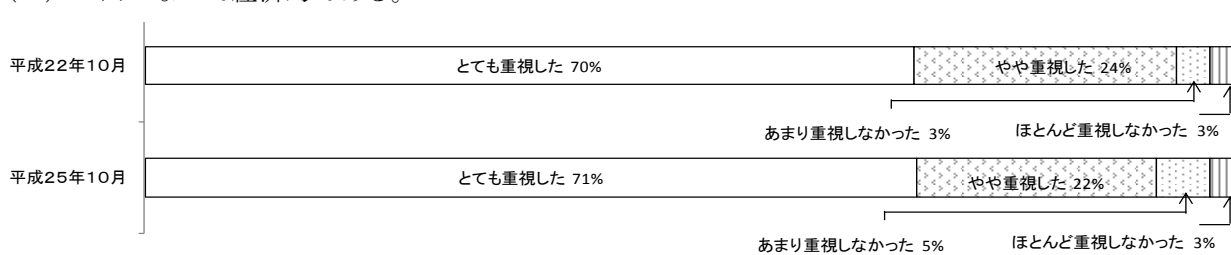
(6) 文武両道で部活動や学校行事が活発である。



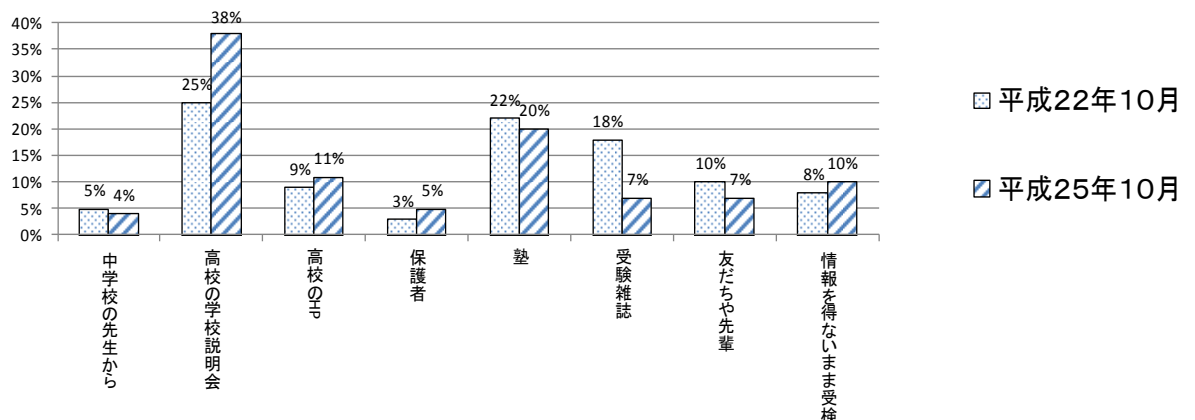
(7) 校舎が新築され施設・設備が充実している。



(8) 公立なので経済的である。

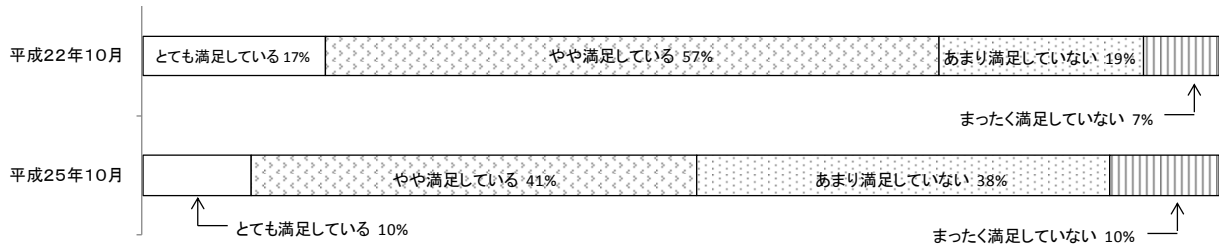


4 中学校3年生の時、市立千葉高校普通科を受検するにあたり、その特色についてどこ(誰)から知ったか。

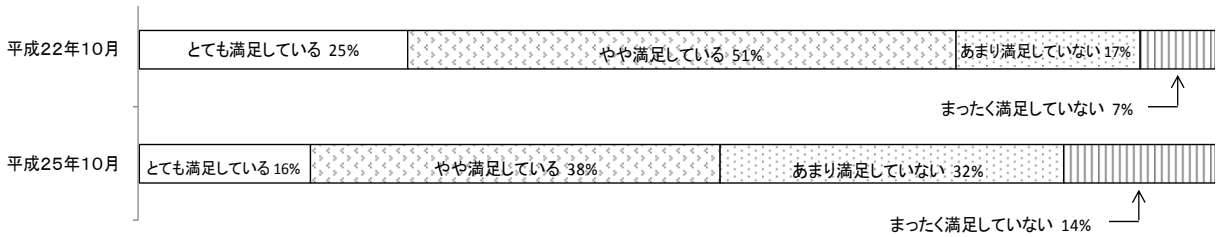


5 市立千葉高校普通科で、次の項目についてどのくらい満足しているか。

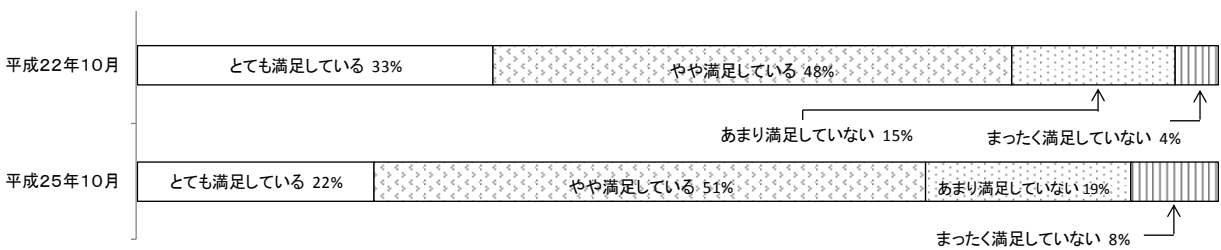
(1) 進学指導を重視しており授業時数も多く、授業や補習など教科指導が熱心に行われている。



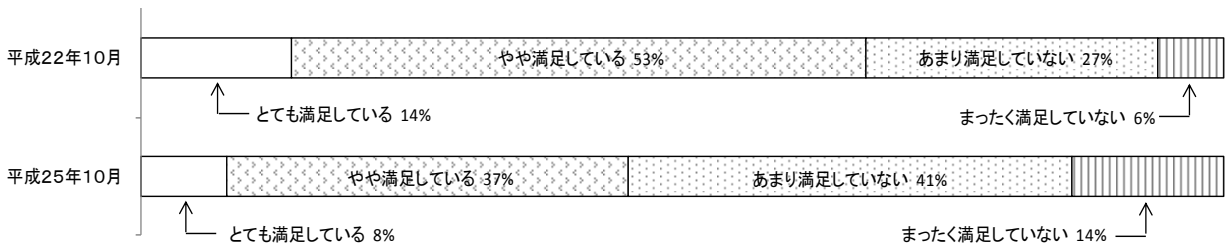
(2) 単位制であり、多様な科目の中から自分の興味関心・適性・進路希望に応じて選択して学習できる。



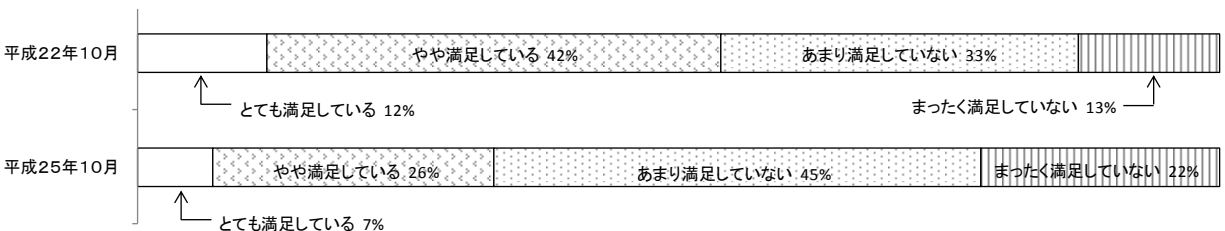
(3) 科目を選択するにあたり十分なガイダンスが行われている。



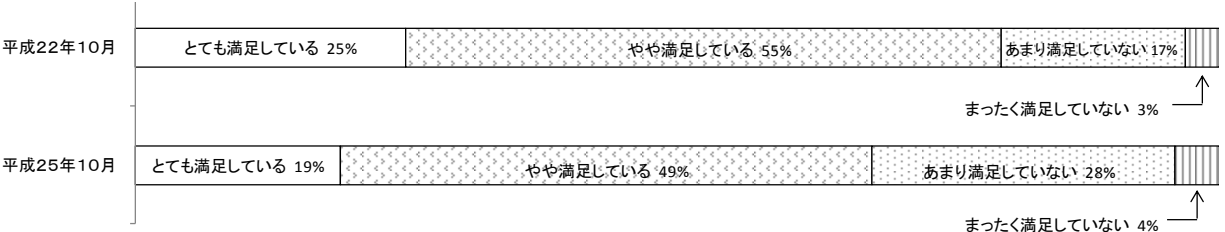
(4) 授業の内容を工夫したり質問に丁寧に対応するなどして生徒の学力を伸ばす努力をしている。



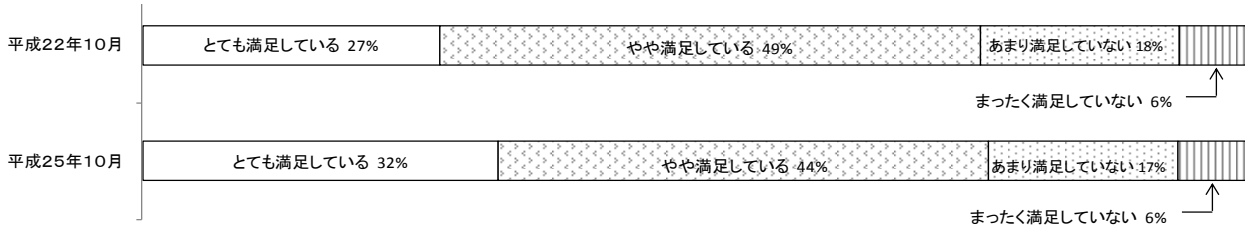
(5) 普通科にも理数教育の成果や伝統が生かされている。



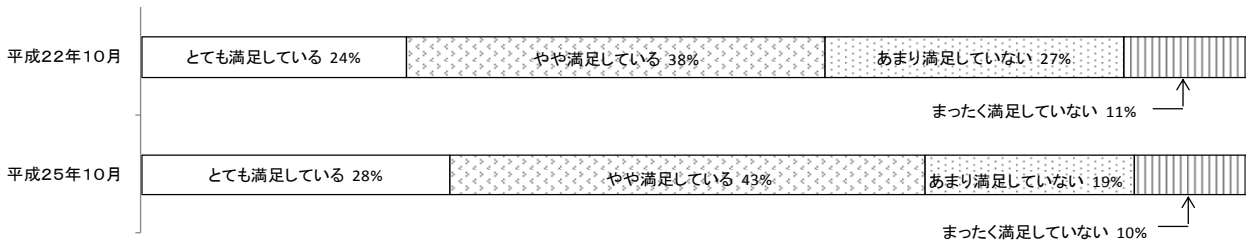
(6) 進路に関する指導や情報が充実している。



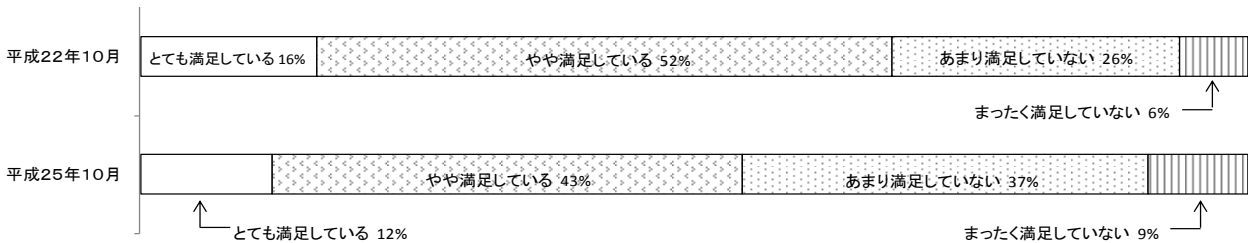
(7) 文武両道であり部活動が盛んである。



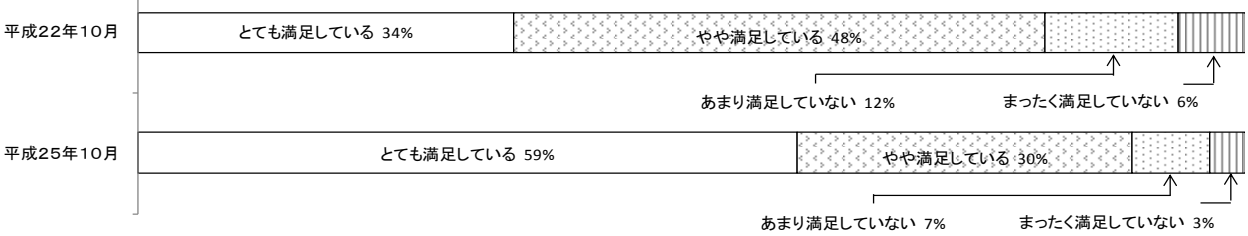
(8) 学校行事（陸上競技大会・夾竹桃祭・合唱コンクール等）が充実している。



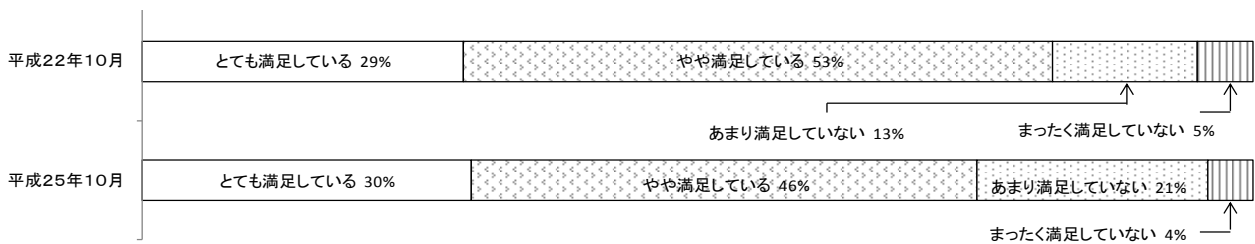
(9) 生活に関する相談や指導が充実している。



(10) 新築されたばかりの校舎の中で充実した施設・設備を活用することができる。



(11) 総合的に判断すると市立千葉高校に満足している。



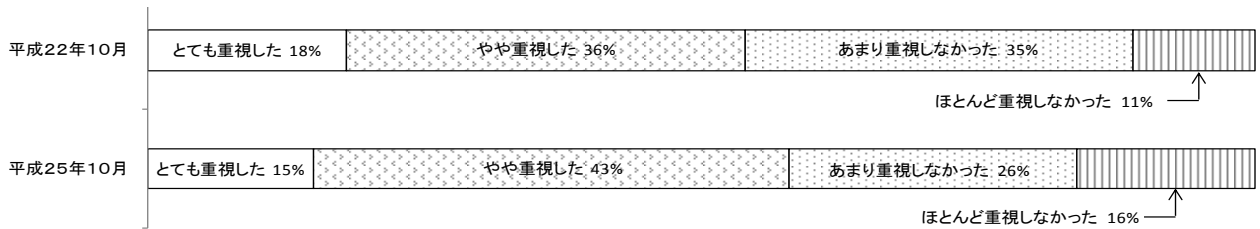
〈回収率〉

市立千葉高校普通科第3学年生徒	アンケート回収数	回収率
280人	271	96.8%

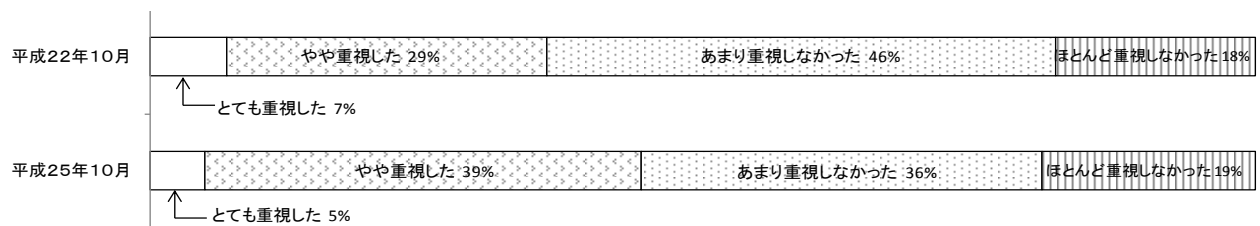
イ 保護者対象（市立千葉高校普通科第3学年）

1 お子様在市立千葉高校普通科を受検するに当たり、あなたは次の各項目について、どの程度重視したか。

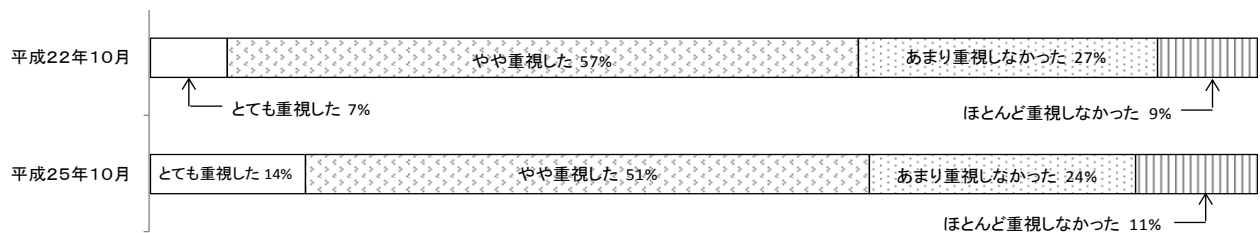
(1) 進学重視型の単位制である。



(2) 1日45分7時間授業を行っており授業時数が多い。



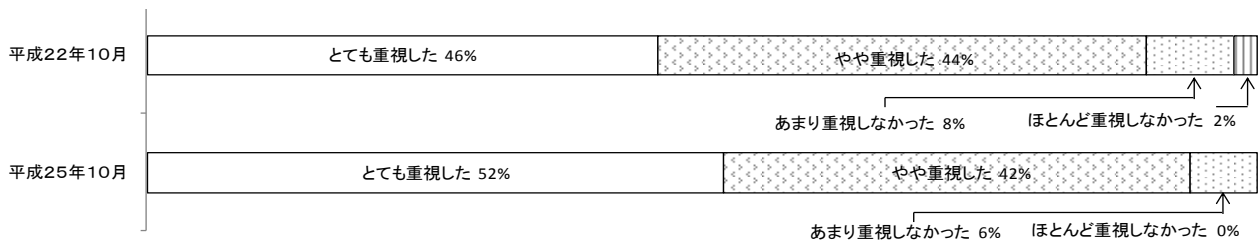
(3) 選択科目が充実しており自分の興味関心・適性・進路希望に応じた学習ができる。



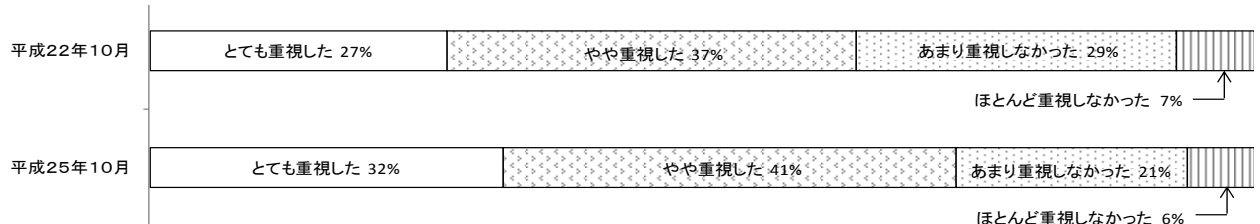
(4) 理数教育が充実している。



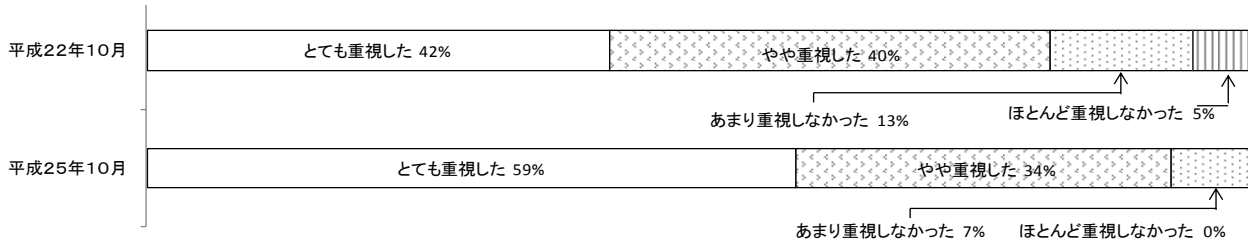
(5) 子どもの学力に合っている。



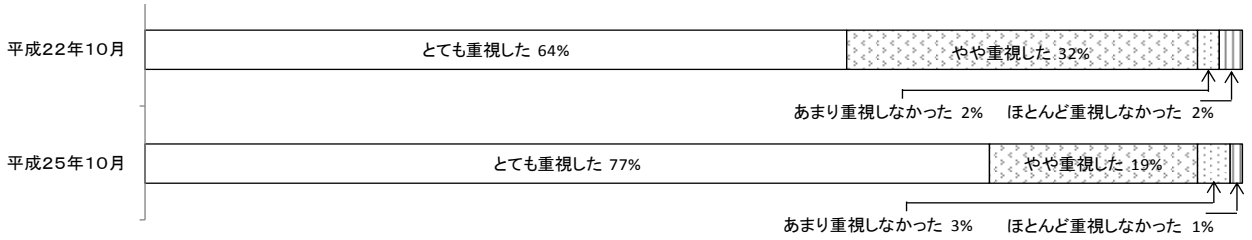
(6) 文武両道で部活動や学校行事が活発である。



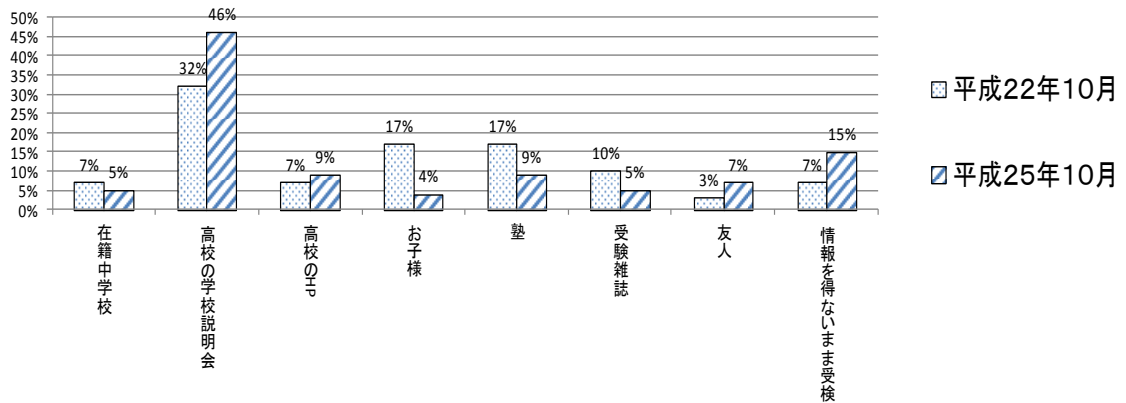
(7) 校舎が新築され施設・設備が充実している。



(8) 公立なので経済的である。

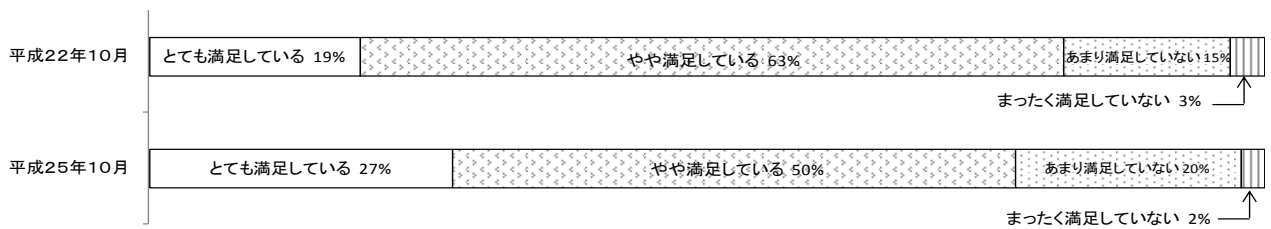


2 市立千葉高校の特色をどこ(誰)から知ったか。

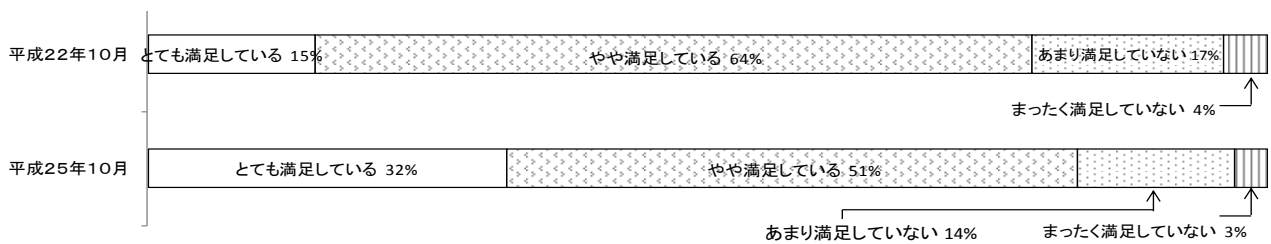


3 市立千葉高校普通科で、次の項目についてどのくらい満足しているか。

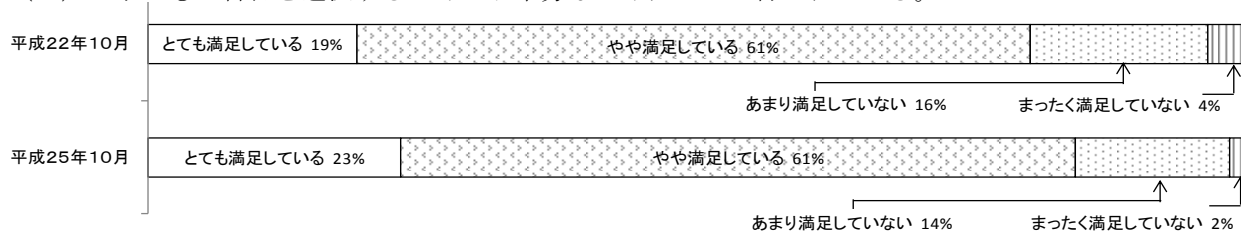
(1) 進学指導を重視しており授業時数も多く、授業や補習など教科指導が熱心に行われている。



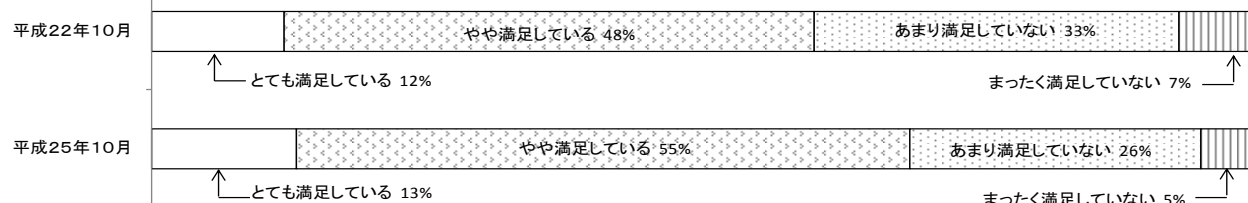
(2) 単位制であり、多様な科目の中から自分の興味関心・適性・進路希望に応じて選択して学習できる。



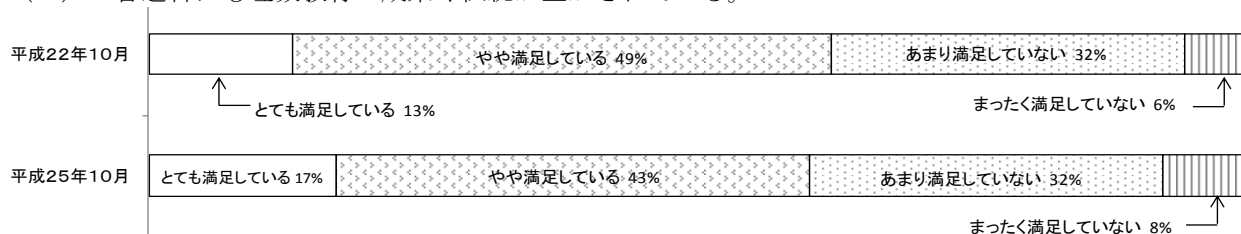
(3) 子どもが科目を選択するにあたり十分なガイダンスが行われている。



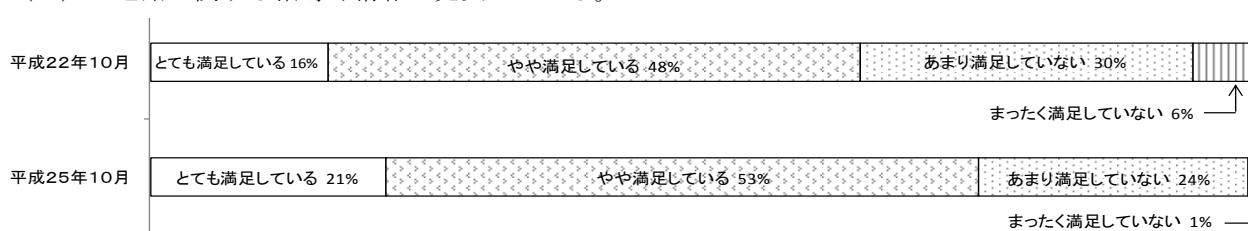
(4) 授業の内容を工夫したり、質問に丁寧に対応したりして子どもの学力を伸ばす努力をしている。



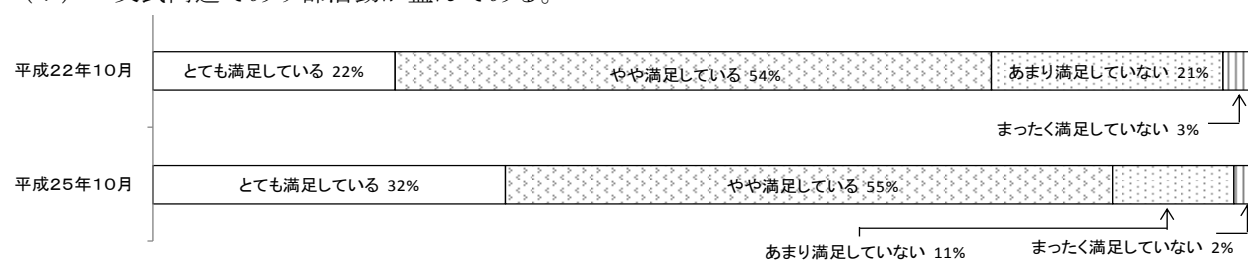
(5) 普通科にも理数教育の成果や伝統が生かされている。



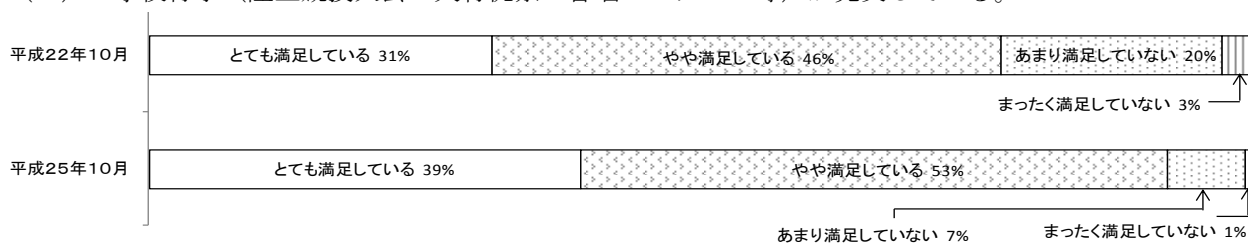
(6) 進路に関する指導や情報が充実している。



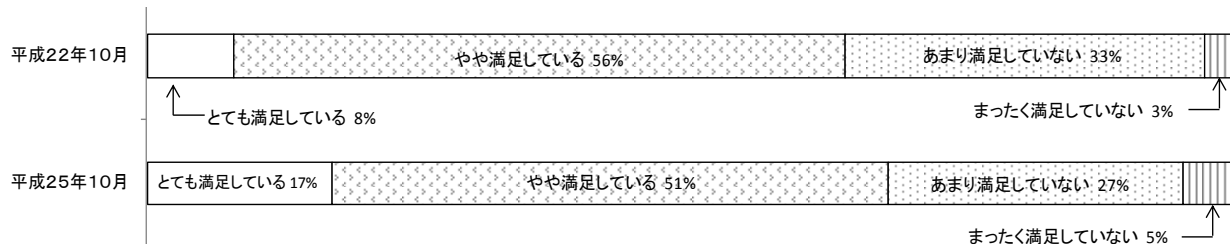
(7) 文武両道であり部活動が盛んである。



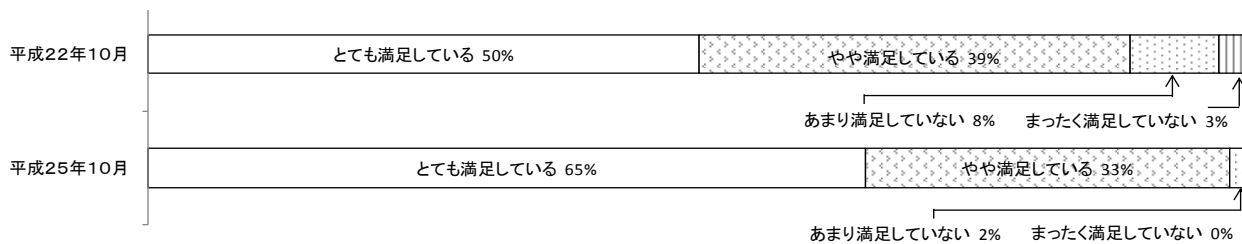
(8) 学校行事（陸上競技大会・夾竹桃祭・合唱コンクール等）が充実している。



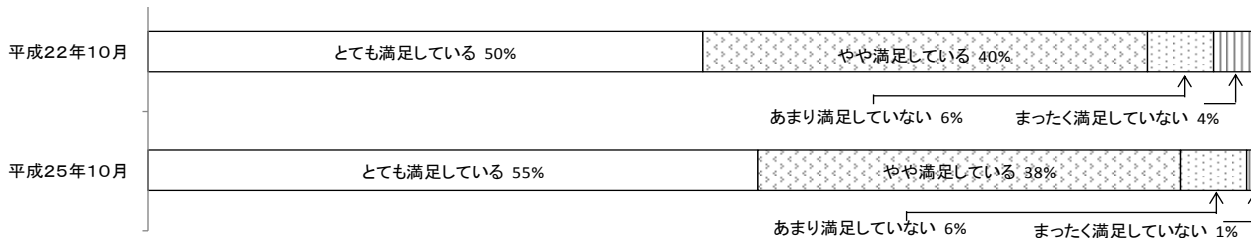
(9) 生活に関する相談や指導が充実している。



(10) 新築されたばかりの校舎の中で充実した施設・設備を活用することができる。



(11) 総合的に判断すると市立千葉高校に満足している。

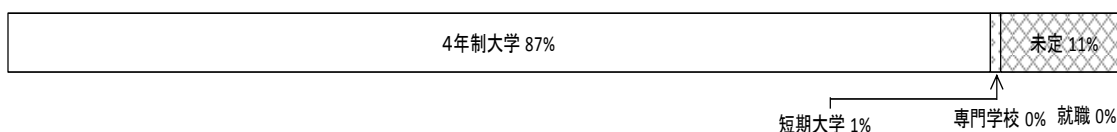


〈回収率〉

市立千葉高校普通科第3学年生徒の保護者	アンケート回収数	回収率
280人	154	55.0%

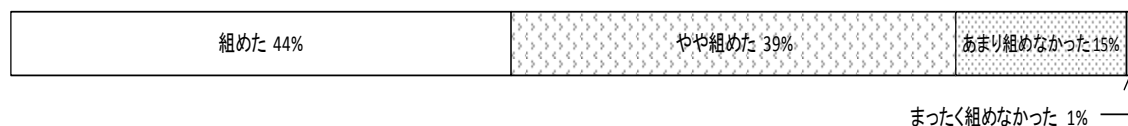
ウ 卒業生対象（平成24年度市立千葉高校普通科卒業生）

1 回答者の高校卒業後の進路について



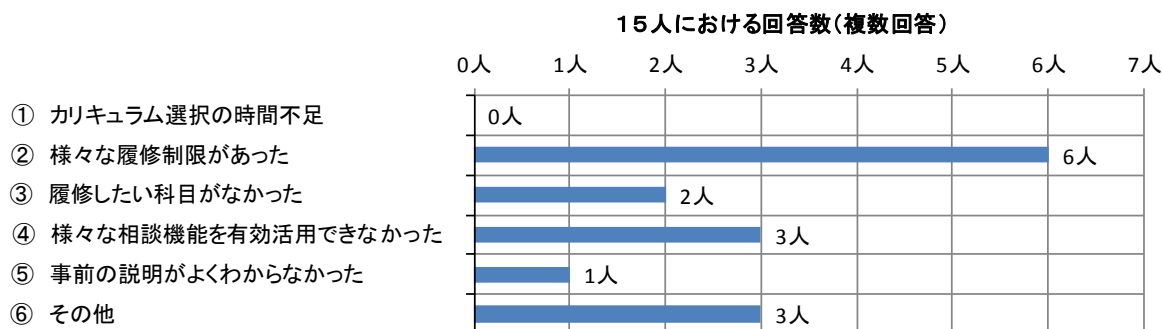
2 単位制高校について

a 自分の希望どおりにカリキュラムを組むことができたか。

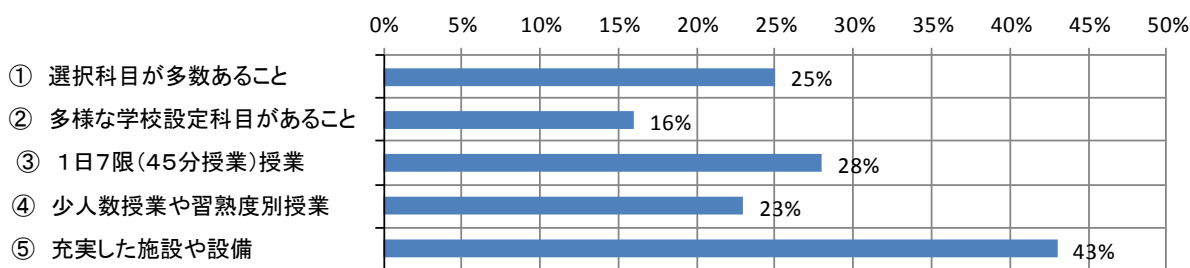


（質問 a で「あまり組めなかった」もしくは「まったく組めなかった」と答えた 15 人だけ回答）

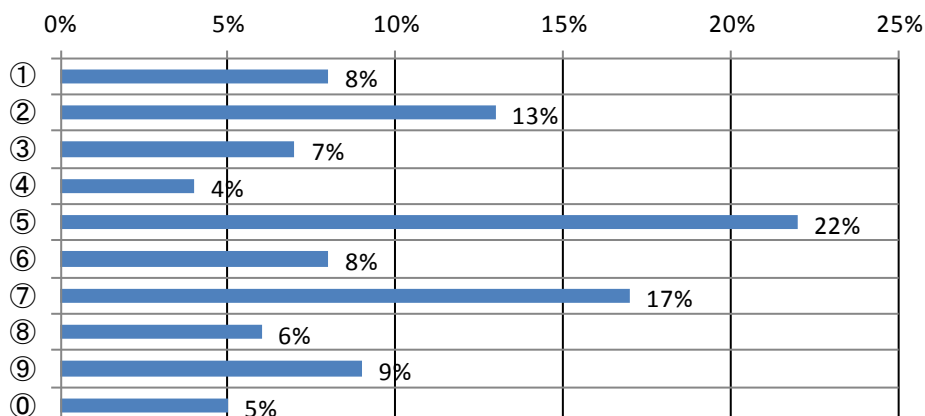
b 希望どおりのカリキュラムを組むことができなかった理由。（複数回答可）



3 学力の向上に有効だったと感じるものについて（複数回答可）



4 「市立千葉高校の魅力や特色」は、何か。(複数回答可)

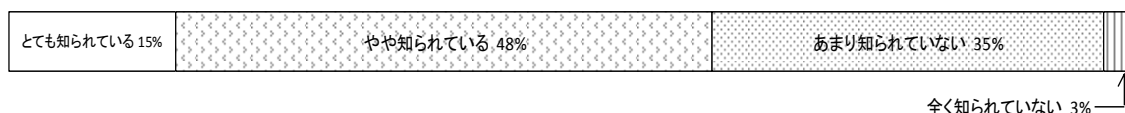


- 〈選択肢〉
- ① 多様な教科・科目があること
 - ② 単位制といった一人ひとりの生徒に応じた多様なカリキュラムを組めること
 - ③ 伝統的な学校行事が豊富にあること
 - ④ 教育活動上の工夫(習熟度別授業、少人数授業など)が多数あること
 - ⑤ 部活動が活発に行われていること
 - ⑥ 進路指導における実績があること
 - ⑦ 充実した施設や設備があり、学校周辺の環境が良いこと
 - ⑧ 大学や企業との連携による授業が豊富にあること
 - ⑨ 理数教育に力を入れていること
 - ⑩ その他

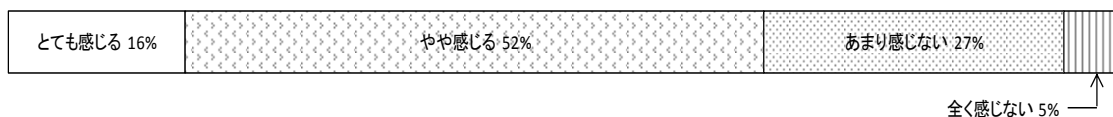
[その他の記載内容]

- ・自由な校風 (3件) ・生徒の自主性を重視しているところ (2件) ・校舎が新しい
- ・無理に留年させようとしない ・教員や生徒に穏やかな雰囲気がある
- ・教養のレベルが高く、会話が通じる場所 ・学年ごとの繋がりが濃いこと

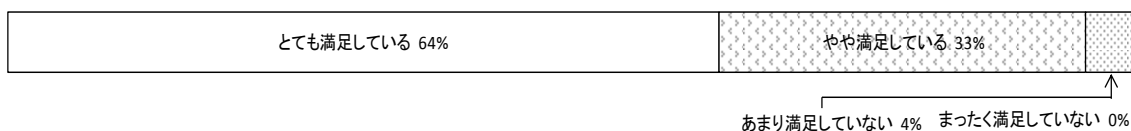
5 「市立千葉高校の魅力や特色」は市立千葉高校以外の友人や後輩に知られているか。



6 市立千葉高校の学習活動は、現在の進路に活かされていると感じるか。



7 あなたは市立千葉高校に進学したことを満足していますか。



〈回収率〉

平成24年度市立千葉高校普通科卒業生	アンケート回収数	回収率
281人	80	28.5%

【参考】アンケート調査用紙

ア 生徒対象（普通科第3学年）

<p>あなたの学校生活等についてのアンケート（市立千葉高校普通科3学年生徒対象） このアンケートは、皆さんに学校生活の様子をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。 回答はすべて校内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。</p> <p>1 あなたの高校卒業後の進路希望について、あてはまる番号を一つだけ選んでください。 ① 4年制大学 ② 短期大学 ③ 専門学校 ④ 就職 ⑤ 未定 1の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4 <input type="radio"/>5</p> <p>2 あなたは部活動に入っていますか。あてはまる番号を一つだけ選んでください。 (これまで活動している既に引退している場合は、①となります。) ① 加入している ② 加入していない 2の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2</p> <p>3 あなたが中学校3年生の時、市立千葉高校普通科を受検するに当たり、次の各項目について、どの程度重視しましたか。 (1)～(8)について、それぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。 ① とても重視した ② やや重視した ③ あまり重視しなかった ④ ほとんど重視しなかった</p>	<p style="text-align: right;">千葉市教育委員会</p> <p>4 あなたが中学校3年生の時、市立千葉高校普通科を受検するに当たり、その特色(進学重視型の単位制、選択科目の充実などをどこ(誰)から知りましたか。主なもの一つだけ選んでください。 ① 中学校の先生 ② 高校の学校説明会 ③ 高校のホームページ ④ 保護者 ⑤ 塾 ⑥ 受験雑誌 ⑦ 友だちや先輩 4の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4 <input type="radio"/>5 <input type="radio"/>6 <input type="radio"/>7 <input type="radio"/>8</p> <p>5 これまでの高校生活を振り返って、次の項目についてのどのくらい満足していますか。 (1)～(11)について、それぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。 (1)～(11)について、それぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。 ① とても満足している ② やや満足している ③ あまり満足していない ④ まったく満足していない</p> <p>(1) 進学指導を重視しており授業時数も多く、授業や補習など教科指導が熱心に行われている。 (1)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(2) 単位制であり、多様な科目の中から自分の興味関心・適性・進路希望に応じた選択して学習できる。 (2)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(3) 科目を選択するにあたり十分なガイダンスが行われている。 (3)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(4) 授業の内容を工夫したり質問に丁寧に対応するなどして生徒の学力を伸ばす努力をしている。 (4)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(5) 普通科にも理数教育の成果や伝統が生かされている。 (5)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(6) 進路に関する指導や情報が充実している。 (6)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(7) 文武両道であり部活動が盛んである。 (7)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(8) 学校行事(陸上競技大会・合唱コンクール等)が充実している。 (8)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(9) 生活に関する相談や指導が充実している。 (9)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(10) 新築されたばかりの校舎の中で充実した施設・設備を活用することができる。 (10)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p> <p>(11) 総合的に判断すると市立千葉高校に満足している。 (11)の回答… <input type="radio"/>1 <input type="radio"/>2 <input type="radio"/>3 <input type="radio"/>4</p>
--	---

1 保護者対象（普通科第3学年の保護者）

高校教育についてのアンケート（市立千葉高校普通科第3学年保護者対象）

千葉市教育委員会

このアンケートは、保護者の皆様に高校教育に関するご意見をお聞きし、今後の高校教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。回答はすべて校内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

- 1 お子様が生立千葉高校普通科を受検するに当たり、あなたは次の各項目について、どの程度重視しましたか。

下の(1)～(8)について、それぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。

- ① とても重視した ② やや重視した
 ③ あまり重視しなかった ④ ほとんど重視しなかった

- (1) 進学重視型の単位制である。 (1)の回答… ① ② ③ ④
- (2) 1日45分7時間授業を行っており授業時数が多い。 (2)の回答… ① ② ③ ④
- (3) 選択科目が充実しており自分の興味関心・適性・進路希望に応じた学習ができる。 (3)の回答… ① ② ③ ④
- (4) 理数教育が充実している。 (4)の回答… ① ② ③ ④
- (5) 子どもの学力に合っている。 (5)の回答… ① ② ③ ④
- (6) 文武両道で部活動や学校行事が活発である。 (6)の回答… ① ② ③ ④
- (7) 校舎が新築され施設・設備が充実している。 (7)の回答… ① ② ③ ④
- (8) 公立なので経済的である。 (8)の回答… ① ② ③ ④

- 2 お子様が生立千葉高校普通科を受検するに当たり、その特色（進学重視型の単位制、選択科目の充実などをどこ誰から知りましたか。主なもの一つだけ選んでください。

- ① 中学校の先生 ② 高校の学校説明会 ③ 高校のホームページ
 ④ 保護者 ⑤ 塾 ⑥ 受験雑誌 ⑦ 友だちや先輩
 ⑧ 特色についてはよく知らないまま受検した 2)の回答… ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

- 3 市立千葉高校普通科で、次の項目についてはどのくらい満足していますか。下の(1)～(11)について、それぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。

- ① とても満足している ② やや満足している
 ③ あまり満足していない ④ まったく満足していない

- (1) 進学指導を重視しており授業時数も多く、授業や補習など教科指導が熱心に行われている。 (1)の回答… ① ② ③ ④
- (2) 単位制であり、多様な科目の中から自分の興味関心・適性・進路希望に応じて選択して学習できる。 (2)の回答… ① ② ③ ④
- (3) 科目を選択するにあたり十分なガイダンスが行われている。 (3)の回答… ① ② ③ ④
- (4) 授業の内容を工夫したり質問に丁寧に丁寧に生徒の学力を伸ばす努力をしている。 (4)の回答… ① ② ③ ④
- (5) 普通科にも理数教育の成果や伝統が生かされている。 (5)の回答… ① ② ③ ④
- (6) 進路に関する指導や情報が充実している。 (6)の回答… ① ② ③ ④
- (7) 文武両道であり部活動が盛んである。 (7)の回答… ① ② ③ ④
- (8) 学校行事（陸上競技大会・夾竹桃祭・合唱コンクール等）が充実している。 (8)の回答… ① ② ③ ④
- (9) 生活に関する相談や指導が充実している。 (9)の回答… ① ② ③ ④
- (10) 新築されたばかりの校舎の中で充実した施設・設備を活用することができる。 (10)の回答… ① ② ③ ④
- (11) 総合的に判断すると市立千葉高校に満足している。 (11)の回答… ① ② ③ ④

以上で終了になります。ご協力、ありがとうございます。

ウ 卒業生対象（平成24年度普通科卒業生）

<p style="text-align: center;">市立千葉高校普通科卒業生用アンケート</p> <p style="text-align: center;">このアンケートは、平成24年度市立千葉高校普通科を卒業した皆さんに「市立千葉高校改革」に関するご意見をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。回答のマークシート部分には黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。</p> <p>1 あなたの高校卒業後の進路について、あてはまる番号を一つだけ○を選んでください。</p> <p>① 4年制大学 ② 短期大学 ③ 専門学校 ④ 就職 ⑤ 未定</p> <p style="text-align: center;">1の回答 12345</p> <p>2 市立千葉高校における単位制の特徴は、必修科目以外選択科目の中から一人ひとりの特性や進路希望、興味、関心に応じて学ぶ科目を主体的に決めていくことができる ところにあります。</p> <p>a あなたは、どのくらい単位制高校の特徴を生かした自分なりのカリキュラムを組むことができたか。</p> <p>① 希望どおりに組むことができた ② やや希望どおりに組むことができた ③ あまり希望どおりに組むことができなかった ④ まったく希望どおりに組むことができなかった</p> <p>b 質問aで③もしくは④を回答した方だけ回答してください。(①②を選んだ方は質問3へ)</p> <p>希望どおりのカリキュラムを組むことができなかった理由を選んでください。(複数回答可)</p> <p>① カリキュラム選択のための時間が足りなかった ② 履修したい科目があっても様々な制限があり取れなかった ③ 履修したい科目がなかった ④ 担任への相談や選択相談会等を有効に活用できなかった ⑤ 事前の説明がよくわからなかった ⑥ その他</p> <p style="text-align: center;">2aの回答 1234</p> <p style="text-align: center;">2bの回答 123456 →質問3へ進んでください。</p> <p>3 市立千葉高校におけるさまざまな取り組みや教育環境の中で、学力の向上に有効であったと感じているものを選んでください。(複数回答可)</p> <p>① 選択科目が多数あること ② 多様な学校設定科目があること ③ 1日7限(45分授業)授業 ④ 少人数授業や習熟度別授業 ⑤ 充実した施設や設備</p> <p style="text-align: center;">3の回答 12345</p>	<p style="text-align: center;">千葉市教育委員会</p> <p>4 卒業後にあなたが考える「市立千葉高校の魅力や特色」とは、どのようなものだと思いますか。(複数回答可)</p> <p>① 多様な教科・科目があること ② 単位制といった一人ひとりの生徒に応じた多様なカリキュラムを組めること ③ 伝統的な学校行事が豊富にあること ④ 教育活動上の工夫(習熟度別授業、少人数授業など)が多数あること ⑤ 部活動が活発に行われていること ⑥ 進路指導における実績があること ⑦ 充実した施設や設備があり、学校周辺の環境が良いこと ⑧ 大学や企業との連携による授業が豊富にあること ⑨ 理数教育に力を入れていること ⑩ その他(記載してください)</p> <p style="text-align: center;">4の回答(複数回答可) 12345678910</p> <p>5 「市立千葉高校の魅力や特色」は、市立千葉高校以外の友人や後輩に知られていると思いますか。</p> <p>① とても知られている ② やや知られている ③ あまり知られていない ④ まったく知られていない</p> <p style="text-align: center;">5の回答 1234</p> <p>6 市立千葉高校での学習活動は、現在の進路先に生かされていると感じますか。</p> <p>① とても感じる ② やや感じる ③ あまり感じない ④ まったく感じない</p> <p style="text-align: center;">6の回答 1234</p> <p>7 今、振り返り、あなたは市立千葉高校に進学したことを満足していますか。</p> <p>① とても満足している ② やや満足している ③ あまり満足していない ④ まったく満足していない</p> <p style="text-align: center;">7の回答 1234</p> <p style="text-align: right;">以上で終了です。ご協力、ありがとうございます。</p>
--	---

2 市立稲毛高校・附属中学校

(1) 基本調査結果

ア 生徒数等（各年度5月1日現在の数） ※市立稲毛高校附属中学校

【生徒数】

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1年	39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
2年			39	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
3年					39	40	40	40	40	40	40	40	40	40
合計	79		159		239		240		240		240		240	

【入学者選抜】

	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
募集定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
志願者数	694	939	456	546	391	576	394	446	368	483	371	462	374	454
	1633		1002		967		840		851		833		828	
志願倍率	17.4	23.5	11.4	13.7	9.8	14.4	9.9	11.2	9.2	12.1	9.3	11.6	9.4	11.4
	20.4		12.5		12.1		10.5		10.6		10.4		10.4	
受検者数	689	933	452	544	389	575	383	444	358	476	355	445	362	435
	1622		996		964		827		834		800		797	
受検倍率	17.2	23.3	11.3	13.6	9.7	14.4	9.6	11.1	9.0	11.9	8.9	11.1	9.1	10.9
	20.3		12.5		12.1		10.3		10.4		10.0		10.0	

【居住区別生徒数】

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H19入学生	11	18	17	12	7	14	79
H20入学生	14	11	10	12	6	27	80
H21入学生	9	14	7	14	13	23	80
H22入学生	21	11	9	7	8	24	80
H23入学生	20	15	10	10	6	19	80
H24入学生	19	9	13	10	6	23	80
H25入学生	16	12	14	12	4	22	80

【職員数】

職員数	校長(1)、副校長(1)、教諭(15)、養護教諭(1)、主事(1)
兼務の状況	中学籍の職員には高校の兼務発令、高校籍の職員には、実習助手と技能員を除き中学の兼務発令が出されている。

【部活動加入者数】

部活動名	平成22年度			平成25年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
軟式野球	26	0	26	20	0	20
サッカー	18	1	19	23	0	23
ラグビー	0	0	0	1	0	1
ソフトテニス	11	17	28	25	22	47
陸上競技	14	6	20	4	10	14
卓球	9	1	10	6	0	6
柔道	1	0	1	0	0	0
剣道	10	0	10	6	3	9
バスケットボール	0	13	13	0	11	11
バレーボール	0	0	0	0	5	5
ヨット	8	1	9	9	1	10
硬式テニス	4	2	6	4	5	9
ソフトボール	0	1	1	0	0	0
合計	101	42	143	98	57	155
加入率	84.2%	35.0%	59.6%	81.7%	47.5%	64.6%

部活動名		平成22年度			平成25年度		
		男子	女子	計	男子	女子	計
文 化 部	吹奏楽	5	23	28	2	20	22
	弦楽オーケストラ	0	20	20	0	21	21
	ESS	5	7	12	1	8	9
	美術	2	3	5	4	2	6
	書道	0	8	8	0	5	5
	茶道	0	2	2	0	5	5
	地学(科学)	1	0	1	0	0	0
	放送	0	3	3	0	0	0
	文芸	0	2	2	0	0	0
	華道	0	4	4	0	0	0
	工芸	0	2	2	11	0	11
	合計	13	74	87	18	61	79
加入率	10.8%	61.7%	36.3%	15.0%	50.8%	32.9%	
部活 全体	合計	111	107	218	116	116	232
	加入率	92.5%	89.2%	90.8%	96.7%	96.7%	96.7%
未加入者		9	13	22	4	4	8

※ 市立稲毛高校

【クラス数】

	平成16年度			平成22年度			平成25年度		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
普通科	8	9	9	7	7	7	7	7	7
国際教養科	1	1	1	1	1	1	1	1	1
学年合計	9	10	10	8	8	8	8	8	8
学校合計	29			24			24		

【生徒数】

		平成16年度			平成22年度			平成25年度		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
普通科	1年	154	171	325	132	149	281	139	143	282
	2年	146	180	326	139	143	282	135	145	280
	3年	188	177	365	122	158	280	140	140	140
	合計	488	528	1016	393	450	843	414	428	842
国際教養科	1年	5	35	40	9	32	41	9	31	72
	2年	8	33	41	4	36	40	9	31	40
	3年	5	34	39	5	34	39	8	29	37
	合計	18	102	120	18	102	120	26	91	117
学校合計		1136			963			959		

【入学者選抜】

		平成16年度	平成22年度	平成25年度	
入学志願 倍率	特色 &前期	普通科	5.77	2.74	1.95
		国際教養科	4.07	3.15	1.63
	学力 &後期	普通科	1.41	1.54	1.38
		国際教養科	1.23	1.85	1.3

【居住区別生徒数】

		中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	他市町村	合計	
平成 16 年度	1年	普通科	36	51	89	44	55	48	2	325
		国際教養科	3	5	4	2	3	3	20	40
	2年	普通科	52	36	70	39	74	50	5	326
		国際教養科	4	1	2	1	5	4	24	41
	3年	普通科	39	62	67	39	91	65	2	365
		国際教養科	3	0	2	1	6	2	25	39
合計	普通科	127	149	226	122	220	163	9	1016	
	国際教養科	10	6	8	4	14	9	69	120	
平成 22 年度	1年	普通科	48	53	46	34	58	41	1	281
		国際教養科	3	2	6	1	4	1	24	41
	2年	普通科	42	38	54	32	63	53	0	282
		国際教養科	2	3	3	1	1	2	28	40
	3年	普通科	45	31	57	33	65	49	0	280
		国際教養科	2	4	1	2	1	3	26	39
合計	普通科	135	122	157	99	186	143	1	843	
	国際教養科	7	9	10	4	6	6	78	120	
平成 25 年度	1年	普通科	50	32	52	26	35	87	0	282
		国際教養科	1	0	2	5	1	1	30	40
	2年	普通科	51	37	44	40	46	61	1	280
		国際教養科	2	1	3	1	5	3	25	40
	3年	普通科	50	40	40	24	39	87	0	280
		国際教養科	7	4	1	0	1	4	20	37
合計	普通科	151	109	136	90	120	235	1	842	
	国際教養科	10	5	6	6	7	8	75	117	

【職員数】

		平成16年度	平成22年度	平成25年度
実働職員 (臨任含む)	全職員	99	111	113
	生徒指導部職員	8	8	8
	進路指導部職員	9	12	12
	教務部職員	12	13	13
	英語科	15	16	16
	ALT※・NTE※	3	5	5

※ALT：英語の授業等で日本人教師を補助する外国人指導助手

※NTE：外国人英語講師

【部活動】

	平成16年度			平成22年度			平成25年度		
	部活数	参加数	参加率	部活数	参加数	参加率	部活数	参加数	参加率
運動系	14	625	55.0%	16	517	53.7%	16	508	53.0%
文科系	15	308	27.1%	15	248	25.8%	16	234	24.4%
合計	29	933	82.1%	31	765	79.4%	32	742	77.4%

【進路】

			平成16年 (平成15年度卒)	平成22年 (平成21年度卒)	平成25年 (平成24年度卒)
大学	国公立	男子	11	5	12
		女子	5	7	14
		合計	16	12	26
	私立	男子	79	85	71
		女子	121	119	120
		合計	200	204	191
		対卒業生率	4.0%	3.7%	8.3%
		対卒業生率	50.3%	63.2%	61.0%
短期大学	男子		0	0	0
	女子		16	10	10
	合計	人数	16	10	10
			対卒業生率	4.0%	3.1%
専門学校	男子		7	2	2
	女子		27	10	7
	合計	人数	34	12	9
			対卒業生率	8.5%	3.7%
留学／留学予定	男子		1	0	0
	女子		5	0	1
	合計	人数	6	0	1
			対卒業生率	2.2%	0.0%
就職	男子		1	1	0
	女子		1	1	0
	合計	人数	2	2	0
			対卒業生率	0.5%	0.6%
未定 (次年進学希望等)	男子		80	54	53
	女子		44	29	23
	合計	人数	124	83	76
			対卒業生率	31.2%	25.7%

イ 教育課程 ※市立稲毛高校附属中学校

	稲毛高校附属中学校の特徴
年間総授業時数	標準1015時間のところ1155時間を展開
学校設定科目	1 「世界と日本」 3年間で20時間実施 2 「総合科学」 3年間で25時間実施 3 「英語コミュニケーション」 3年間で105時間実施
教科の授業時数の増加 (3年間)※1	1 国語75時間増 2 社会20時間増 3 数学140時間増 4 理科60時間増 5 英語105時間増
特色ある教科の指導内容	1 国語 ○読解応用と国語総合基礎 2 社会 ○地理Aの一部を先取り 3 数学 ○数学A・数学Iの一部を先取り ○数学を体系的に学ぶ 4 理科 ○化学・物理分野を先取り ○科学研究論文を中学1～3年まで徹底指導する。 ○中学～高2まで体系的に一貫シラバスで学ぶ 5 技術 ○情報分野は高校情報Cまでの一貫カリキュラム 6 英語・英語コミュニケーション ○中1～高3まで一貫シラバス 7 総合的な学習の時間 ○国際人プロジェクト※2
指導の例	1 国語 文語文法基礎、評論文、小説読解 2 世界と日本 世界と日本の比較文化研究 3 数学 整式、不等式、2次方程式、集合、条件と命題 4 総合科学 原子・分子の構造、モルの計算、ニュートン力学 5 英語 分詞構文、過去完了、関係詞、仮定法
特色ある授業展開	1 習熟度別・少人数学習、ティーム・ティーチング 2 高校の専門教員による指導 3 ネイティブ講師による指導、Call教室での指導(英語)
特色ある行事	1 スタートアップセミナー、職場訪問・地域研究、言語技術講座、情報処理技術講座、求道(茶道・合気道)研究、体験講座(中1) 2 自然教室、職場体験、大学研究、プレゼンコンテスト(中2) 3 修学旅行、大学訪問、テーブルマナー講座(中3) 4 海外語学研修(高2)

※1年間総授業数を増加させた分と教科等(選択・総合的な学習の時間)間の授業時数を調整させることで、時数を確保

※2国際理解のための考え方・表現力を身に付け、自国・地域の文化を積極的に発信し、交流することができる「真の国際人」を目指す。

※市立稲毛高校

		改革前 (平成16年度入学生用教育課程)	改革後 (平成22年度入学生用教育課程)	現行 (平成24年度入学生用教育課程)	
課程・学科		全日制・普通科	全日制・普通科	全日制・普通科	
学校 設定 科目	地理歴史	/	3科目		
	公民		1科目		
	数学			1科目	
	理科			4科目	
	外国語			1科目	
選択 科目	1年	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅰ・美術Ⅰ・工芸Ⅰ・書道Ⅰ(2単位)から1科目選択	
	2年	物理Ⅰ・生物Ⅰ・地学Ⅰ(3単位)から1科目選択	物理Ⅰ・生物Ⅰ・地学Ⅰ(3単位)から1科目選択	物理基礎・地学基礎(3単位)から1科目選択	
		音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱ(2単位)から1科目選択	音楽Ⅱ・美術Ⅱ・工芸Ⅱ・書道Ⅱ(2単位)から1科目選択	
	3年	文系	A選択(2単位)4科目から2科目選択	A選択(2単位)3科目から1科目選択	文系 A1選択(4単位)2科目から1科目選択
			B選択(3単位)7科目から1科目選択	B選択(2単位)3科目から1科目選択	
		理系	A選択(2単位)5科目から1科目選択	A選択(2単位)3科目から1科目選択	理系 A1選択(4単位)2科目から1科目選択
B選択(3単位)7科目から1科目選択			B選択(3単位)6科目から2科目選択	A2選択(2単位)6科目から2科目選択 B選択(3単位)3科目から1科目選択	
大学における学修			2年次に本人希望のもと、学校の推薦を得たものが履修(1~2単位)		

(2) 小・中学校長代表対象意見交換会結果

※(小) 小学校長代表意見 (中) 中学校長代表意見

No	項目	小・中学校長代表から	高校からの回答
1	全体としての改革の成果について	校訓と学校教育目標とのつながりがわからないが？(小)	校訓は、開設以来のものなので、基本的に変えることはできない。一方、実態に合わせた教育に対しては、教育目標で対応している。
2	真の国際人を育成する教育について	「真の国際人の育成」をどのようにとらえているか。(中)	企業の求める人材との違いを考慮し、チャレンジ精神や忍耐強く努力する力などを育成することを目標としている。
		専門性の高さを感じる。海外で活躍する人材は育っているのか。(中)	直接海外の大学へ進学する生徒は多くはない。一方で、国際系や留学に実績のある大学に進学し、海外へ出ていく生徒は増えている。

		英語科教員のレベルの維持はどうしているのか。(中)	教員相互の授業観察や、ネイティブの職員との研修などを行っている。また、生徒の引率で海外に出る教員も多い。
		「日本人としてのアイデンティティの確立」はどう考えているのか。(小)	「確かな学力」、「豊かな人間性」、「調和のとれた体力」の上に「他者を理解する力」、「異文化理解」を重視している。
3	中高6年間の継続的な指導について	附属中が難関になり、入学しにくい。できれば定員数を増やしてほしい(小)	学校の特徴を理解し、本当に入学したいと思っている生徒に入学してもらいたいと考えている。入学者選抜では、私立のように学力検査ではなく適性検査を実施しているため、入学後の学力差がみられることが課題となっている。 また、定員に関しては、学校で判断できないが、高校から入学する生徒数の関係もあり、簡単に増加させることはできないと思われる。
4	教育ニーズ多様化への対応について	生徒のメンタルのケアなどはどのようになっているか?(小)	全体としてメンタル面で弱い生徒が増えており、カウンセリングの充実や保健室の対応を重視している。
5	小中学校現場や地域へのアピール	文化祭は高校の内容を見る良い機会であるが、市立両校とも7月に実施している。その頃は、中3生は最後の総合体育大会前で見学しにくい。(中)	文化祭で好評だった生徒の活動をほかの時間や場所でも紹介するようにしている。三線演奏やエイサーなどは様々なところからご要望をいただき、実演している。
		国際教養科の進路実績をもっと強調してもいいのではないか。(中)	英語科・国際科を持つ高校の中でも、市立稲毛高校のように普通科に勝るとも劣らない実績を上げている学校は少ない。着実に実績が伸びていることを個別に伝えていきたいと考えている。

(3) 聞き取り調査結果 対象：市立稲毛高校・附属中学校の副校長・教頭・教務主任等

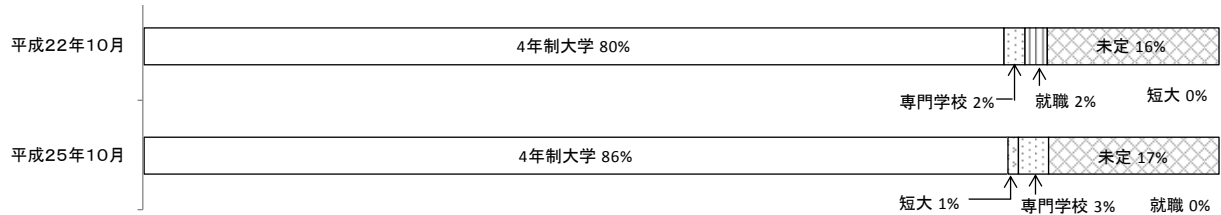
No	項目	意見
1	全体としての改革の成果について	<p>内進生の英語指導に対しては、語学研修を柱にした英語教育を行ってきた。その結果、内進上位層は国際教養科と同程度の英語力が付いてきている。また、オーストラリア語学研修は、英語力のみならず、人間的成長にも寄与できたと思う。GTECの下位層は、3年になって減った。</p>
		<p>海外の語学研修受入れ校における日本文化をリサーチした発表は、極めて評判がよかった。ただし、生徒への事前・事後指導のための職員の業務量はたいへん大きかった。</p> <p>また、ハンドアウトの教材プリントを作成するにしても、教科内のチームワークがないとできない作業であった。</p>
2	真の国際人を育成する教育	<p>英語ディベートを学ぶ学校設定科目（エッセンシャルイングリッシュII）の実施により、生徒は語学だけではなく、思考力や表現力の向上につながっている。</p>
		<p>海外語学研修(オーストラリア)に参加することで生徒の英語に対する見方が変わり、GTECの得点が上昇した。その後の英語力の飛躍につながった。</p>
		<p>現在、海外交流校が7校あるが、それらすべての学校との交流は、スタッフ面・資金面で不可能である。現在、3校のみと姉妹校交流しているが、今後、拡大が望まれる。</p>
		<p>最近の活動実績として「第5回千葉県高校生英語ディベート大会」（平成25年11月1日 成田国際高校で開催）に出場し第1位、「第8回全国高校生英語ディベート大会in長野」（平成25年12月18・19日 松本大学で開催）に出場し、第21位などがある。</p>
3	中高6年間の継続的な指導について	<p>平成25年度から普通科の教育課程が統一されたことに伴い、内進生と外進生の学習進度の違いを考慮した中高の教育内容全体を検討していく必要がある。</p>
		<p>理科については中高の枠を超えて教科内で連携がうまくいっている。施設面では「中学のための実験室」「中学のための技術棟」が無い状況があり、この点が改善されれば、よりスムーズな学習の流れができると思う。</p>
		<p>GTECは毎年7月に中学2年以上の全生徒が受験しており、25年度、高校3年の内進生の平均スコアは594点（英検2級相当レベルは570点以上）であった。当初の目標は「高校2年までに英検2級に全員合格」を挙げていたが、現在、学校として英検は個人受検でという位置づけにしていることもあり、当初の目標は達成できていると考えている。</p>
		<p>適性検査の日程について、現状の1月末の日程では、中高ともに在校生への指導との兼ね合いが難しい。その時期の授業が細切れになってしまい、生徒への影響を考慮した検査日程や在り方を検討すべきだと思う。</p>

No	項目	意見
4	文武両道の 伝統について	内進生は高校入試がなく、中学時代から継続して部活動ができるため、高校になり活躍している部活動も見られた。 中学と高校の行事日程を組み合わせる計画することが難しい場合がある。例えば、文化祭の翌週に中学の総合体育大会を実施するといった、厳しい日程を組むことになってしまった。
		平成24年度は、高校の野球部が県大会ベスト16、バドミントン部が県大会ベスト8、ダンスドリル部が全国大会に出場している。
		中間まとめでは「中学3年生になった時に、最高学年としての自覚をいかに育成するか」が課題となっていたが、これに対して高校とは別に、中学は学年別に生徒会を組織して独自の活動を行っている。特に中学3年生については、学校評議会の中心メンバーとして文化祭をはじめ、各種校内行事の運営に積極的に関わることで、集団における統率力や中学校最高学年としての自覚を育成している。
		中学校の野球部やサッカー部の練習場所が課題となっていたが、昨年度までは公営施設（千葉市卸売市場のグラウンド）を借用して対応していた。（また、今後、隣接する学校跡施設を活用する予定である。）
5	教育ニーズ の多様化への 対応について	「中高一貫における生徒間の学力差」に対して、特に英語と数学については、教科担当レベルでの個人指導を通年で実施している。また、高校生になってからも、中学の先生が成績不振者を対象に課外補習を実施している。
		今年度から養護教諭が1名増員の中高3人体制になり、従来のスクールカウンセラーに加えて相談体制が強化された。
6	小学校現場 や地域への アピールなど	小学校の児童・保護者向けには、学校説明会と学校見学会を7月と11月に実施している。小学校の教員に対しては、職員向け説明会で、学校の紹介と出願方法の説明をしている。
		千葉市教育研究会国際理解部会等でも本校を参観したい希望があれば受け入れている。中学職員の初任者研修でも授業を公開している。
		部活動（吹奏楽部、ESS）で近隣の小中学校との交流活動を行っている。
		中学1年の総合的な学習の時間の中で、地域を知る活動の一環として稲毛の浜の清掃活動を行っている。また、同じく中学2年生は、職場体験で地域の各事業所受け入れていただきお世話になっている。
7	学校現場 から見た 市立高校 改革について	内進生と外進生はお互いが刺激しあい、進路実績では改革前よりも伸びている。また、朝学習実施の効果もあり、以前に比べて遅刻数は激減し、違う学校のようになった。
		ともすると市立稲毛高校は「内進生重視」という見方をされてしまう場合があるため、極力、実施可能な教科（今年度は2年次理科の基礎科目）において、内外進のクラスを組み合わせるなどの工夫を行っている。

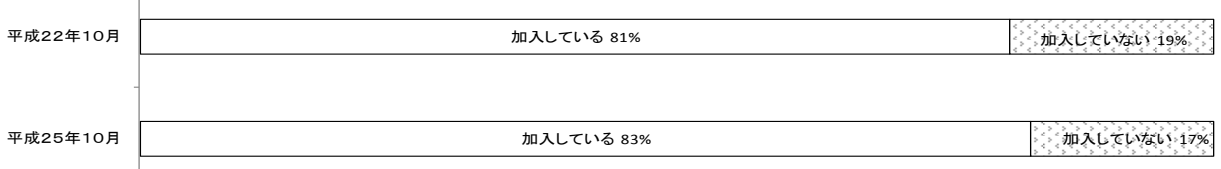
(4) アンケート調査結果

ア 生徒対象(附属中学校第3学年・稲毛高校内進生第1学年)

1 高校卒業後の進路希望について

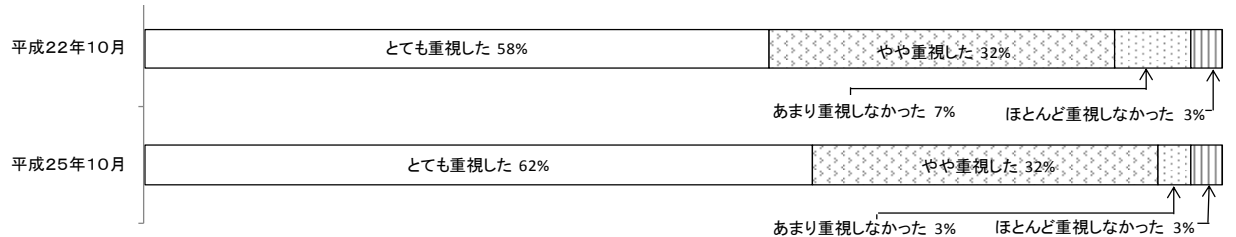


2 部活動に加入しているか。

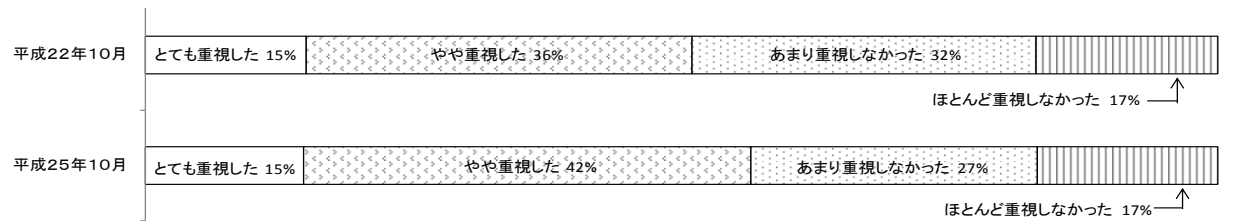


3 小学校6年生の時、稲毛高等学校附属中学校を受検するにあたり、次の各項目について、どの程度重視したか。

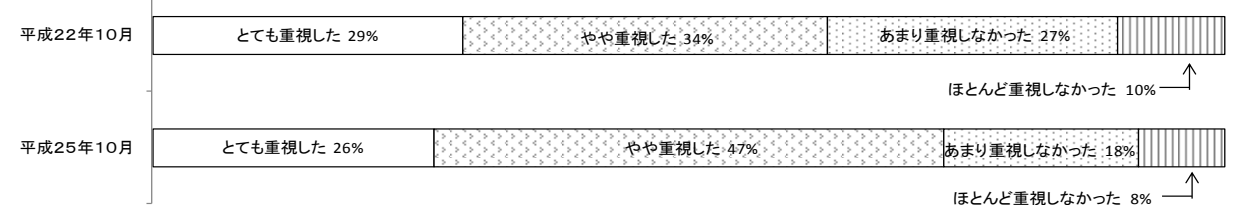
(1) 高校受検がなく、そのまま稲毛高校に進学できる。



(2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。



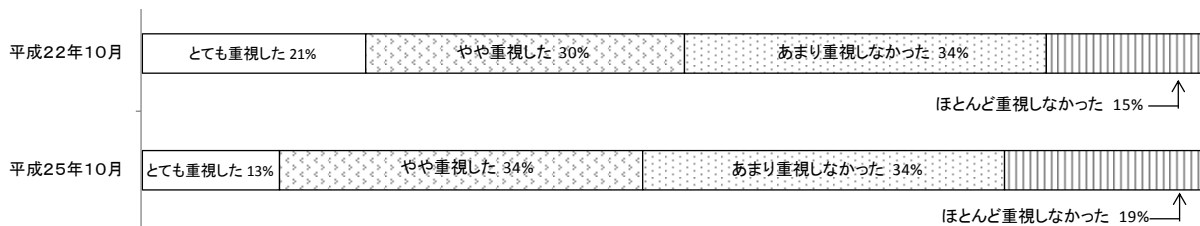
(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。



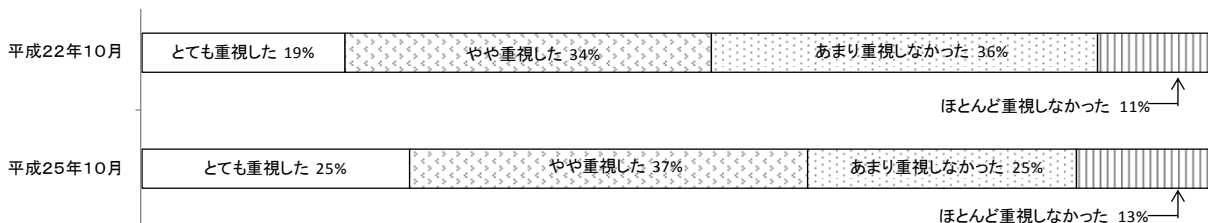
(4) Call 教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修があるまた国際交流活動が充実している。 ※Call教室：コンピュータを使って語学学習を支援するシステム



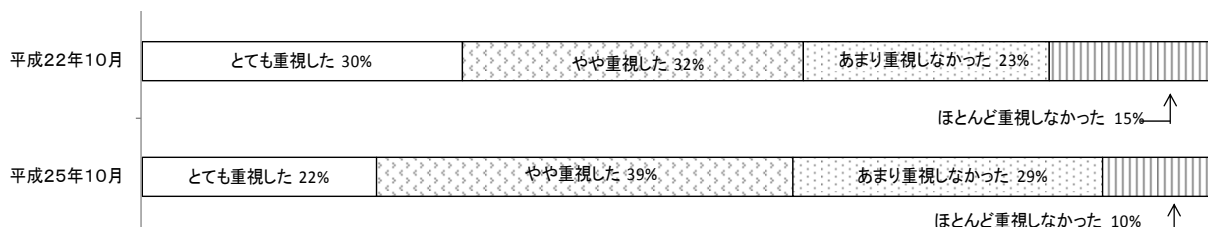
(5) 中高の先生が共同して教えている。



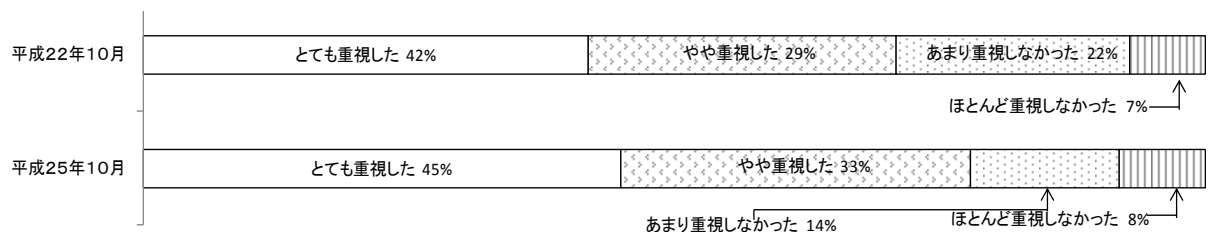
(6) 高校生との交流があり中高共同の活動（部活動・行事・生徒会等）が行われている。



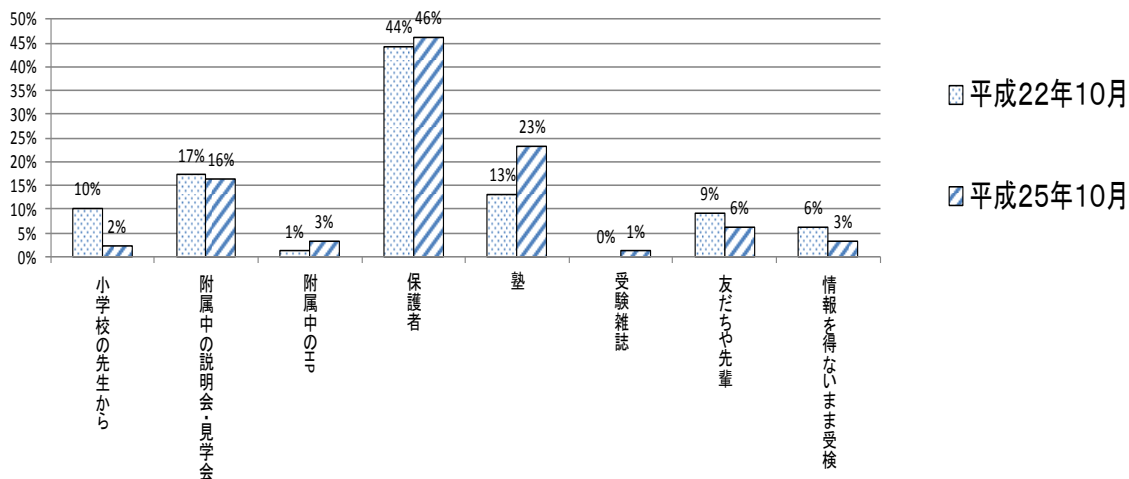
(7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。



(8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。

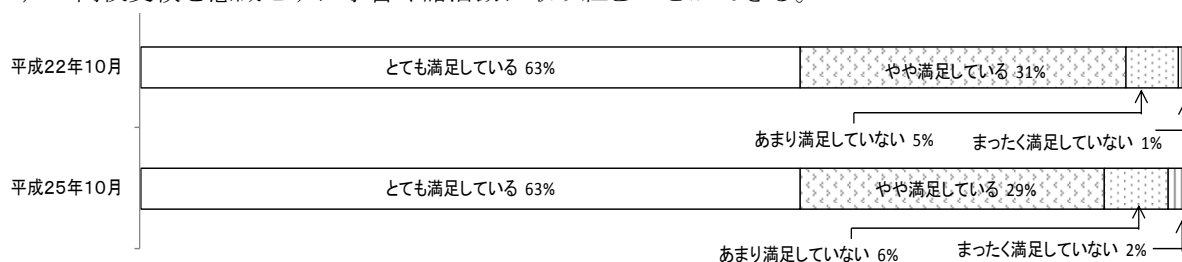


4 附属中の情報をどこ(誰)から知ったか。

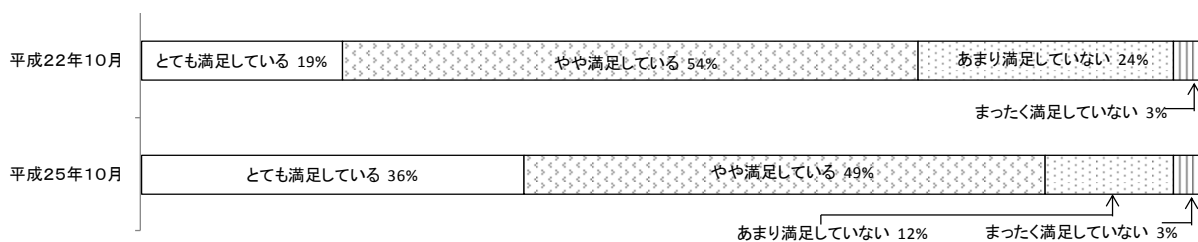


5 これまでの附属中の生活を振り返って、次の項目についてどのくらい満足しているか。

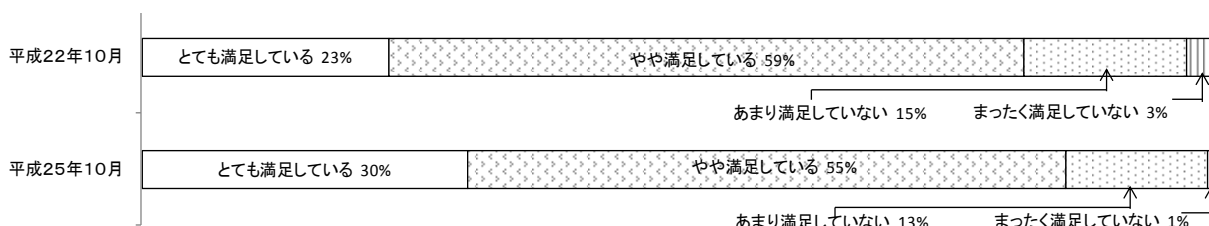
(1) 高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組むことができる。



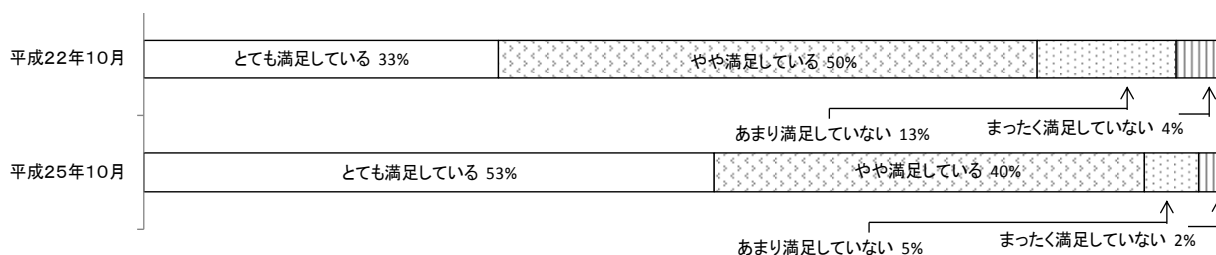
(2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。



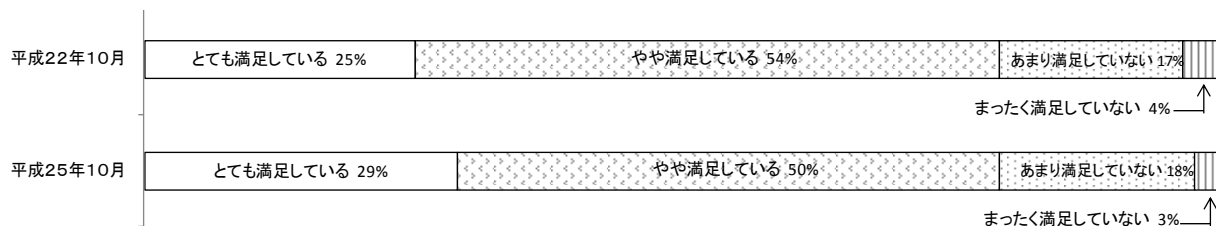
(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをおして、総合的に学力を向上することができる。



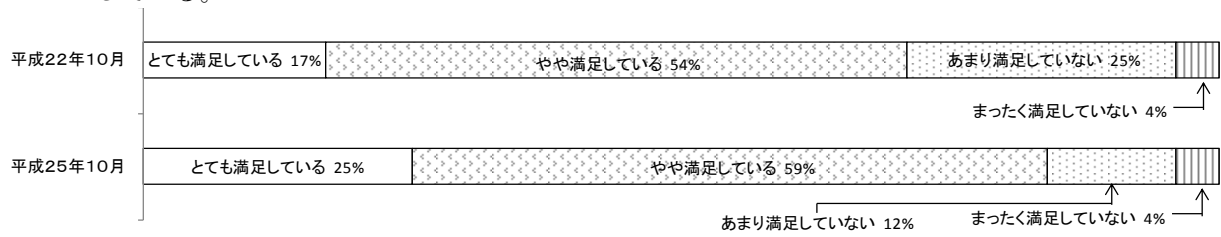
(4) Call 教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をとおして国際人としての視野が広まる。



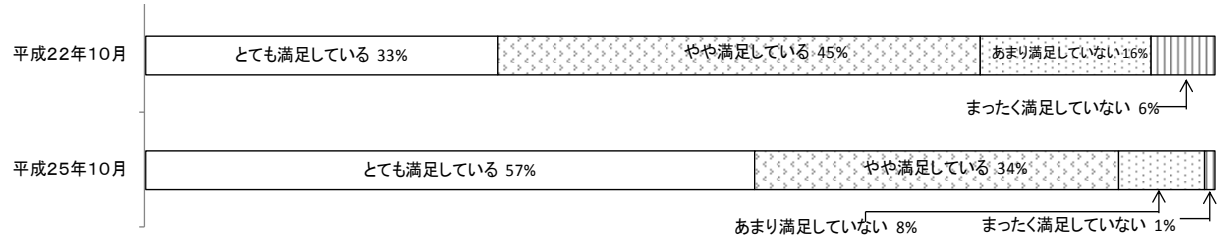
(5) 高校の先生による専門的な指導を受けることができる。



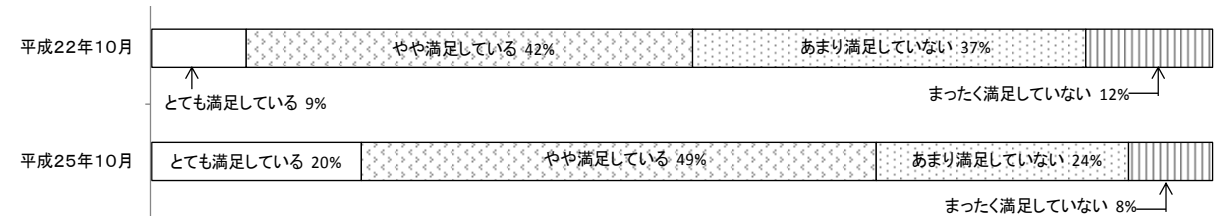
(6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、生徒が学習内容をきちんと理解できるよう努力している。



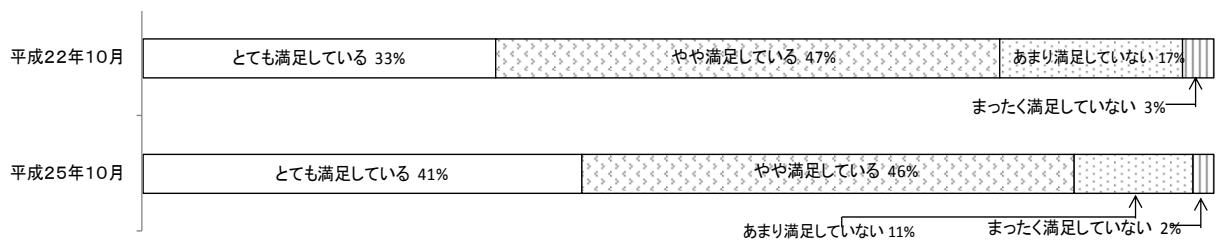
(7) 高校生と共同の学校行事（陸上競技大会・飛翔祭等）や部活動・生徒会活動が充実している。



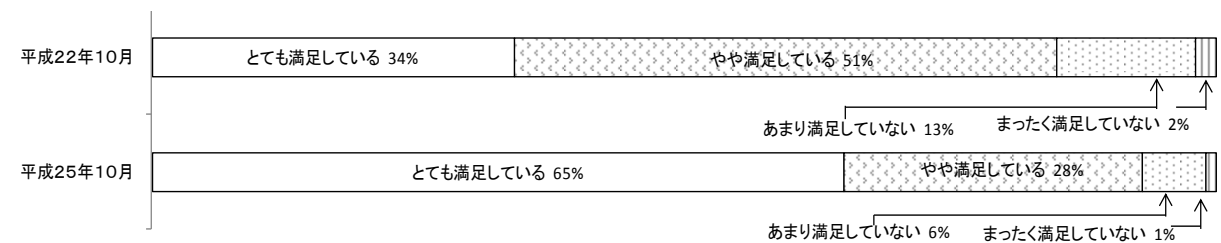
(8) 生活に関する相談や指導が充実している。



(9) 中学特別教室棟(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。



(10) 総合的に判断すると附属中に満足している。



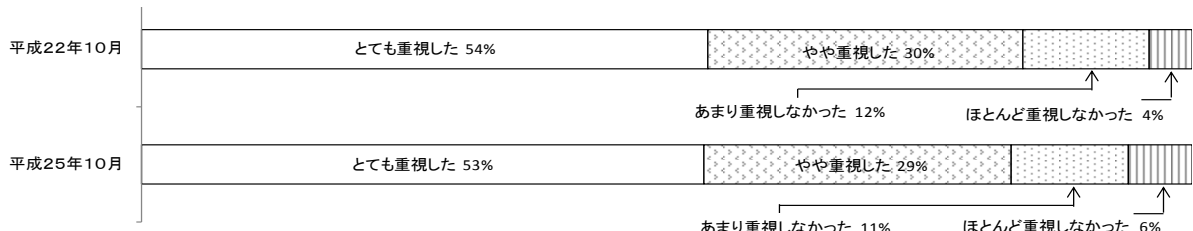
〈回収率〉

対象者	アンケート回収数	回収率
市立稲毛高校附属中第3学年生徒及び稲毛高校第1学年内進生	159	99.4%
合計	160人	

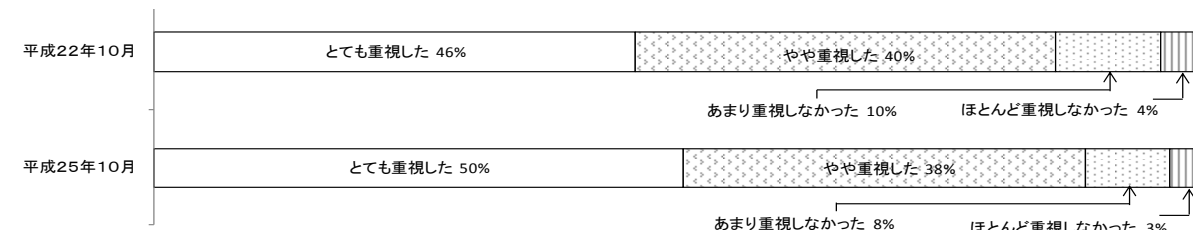
イ 保護者対象(附属中学校第3学年・稲毛高校内進生第1学年)

1 お子様が稲毛高等学校附属中学校を受検するにあたり、次の各項目について、あなたはどの程度重視したか。

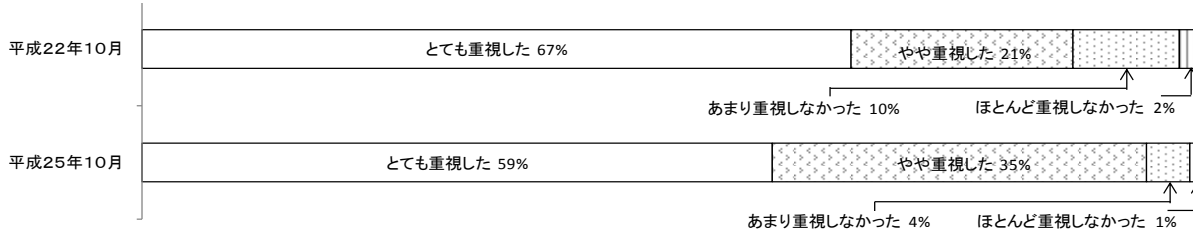
(1) 高校受検がなく、そのまま稲毛高校に進学できる。



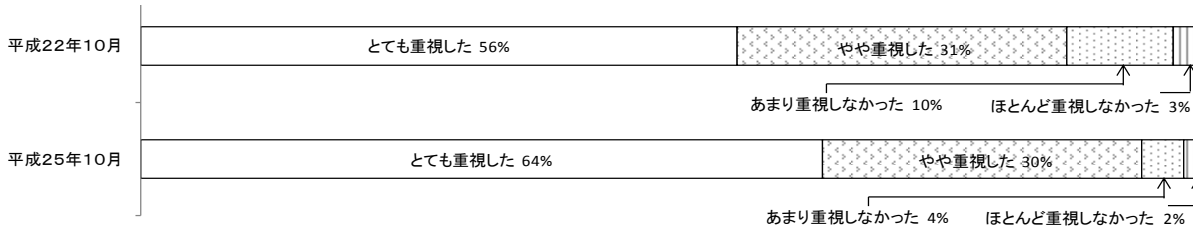
(2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。



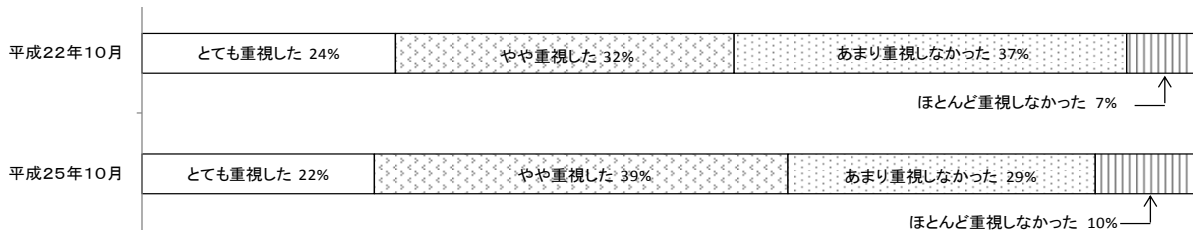
(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。



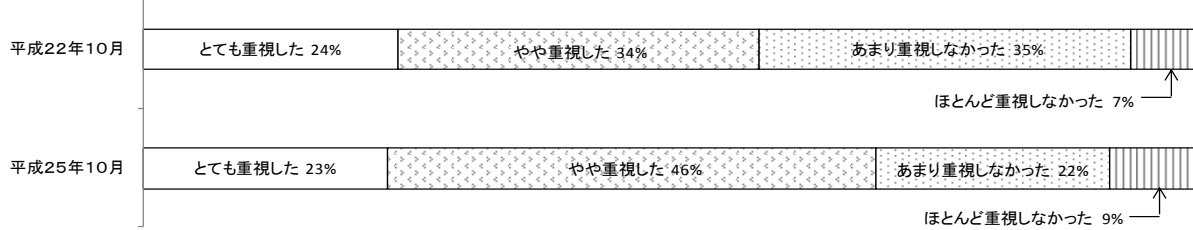
(4) Call 教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修がある。また国際交流活動が充実している。



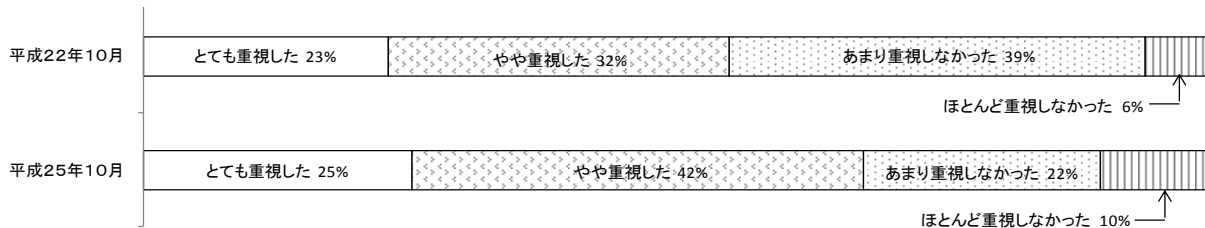
(5) 中高の先生が共同して教えている。



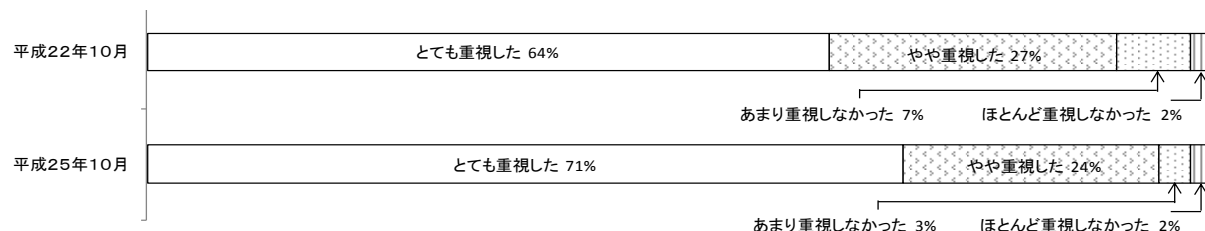
(6) 高校生との交流があり中高共同の活動(部活動・行事・生徒会等)が行われている。



(7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。

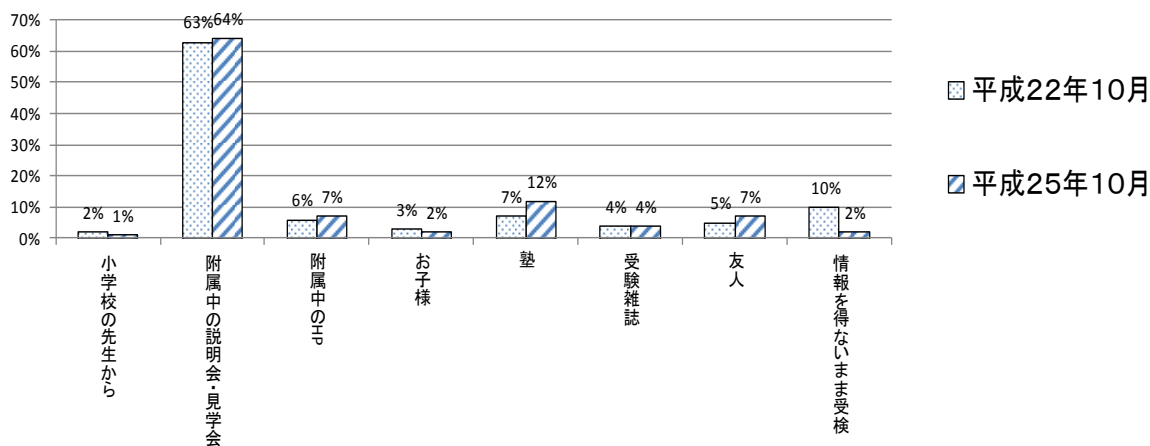


(8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。



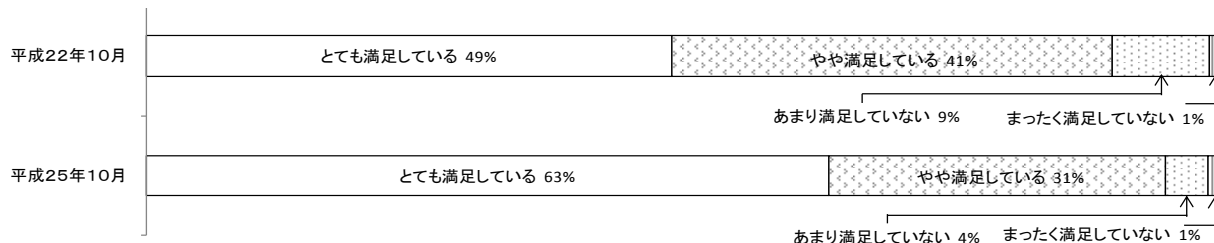
2 附属中の情報について主にどこ(誰)から知ったか。

2 お子様は小学校6年生の時、附属中を受検するにあたり、附属中の情報をどこ(誰)から得ましたか。

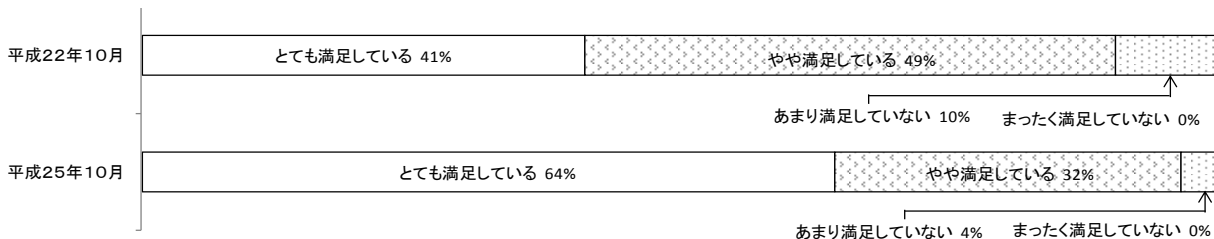


3 附属中学校で、次の項目についてどのくらい満足しているか。

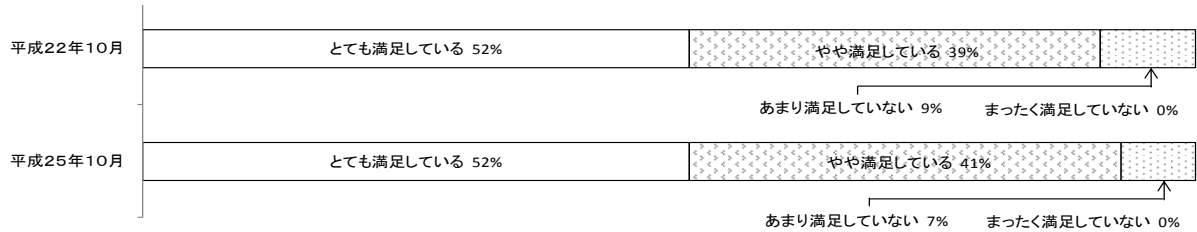
(1) 子どもが高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組むことができる。



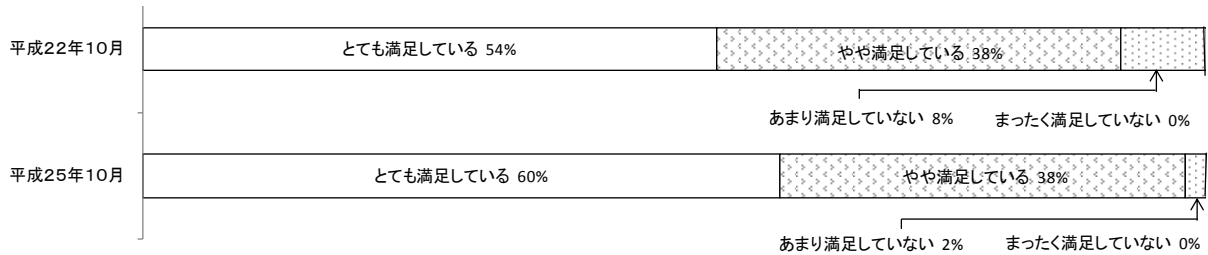
(2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。



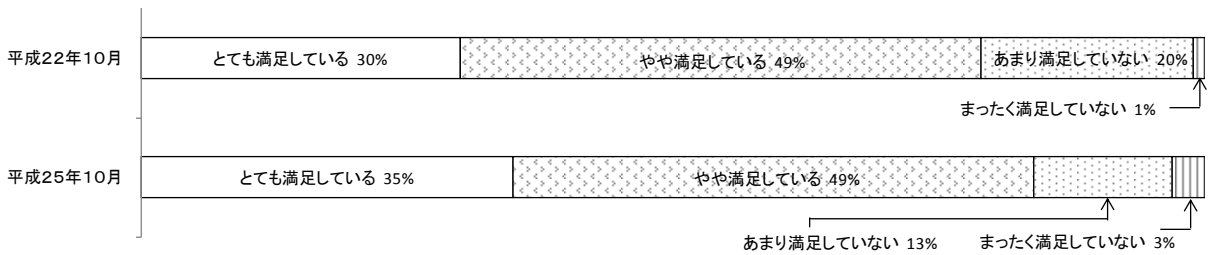
- (3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などとおして、総合的に学力を向上することができる。



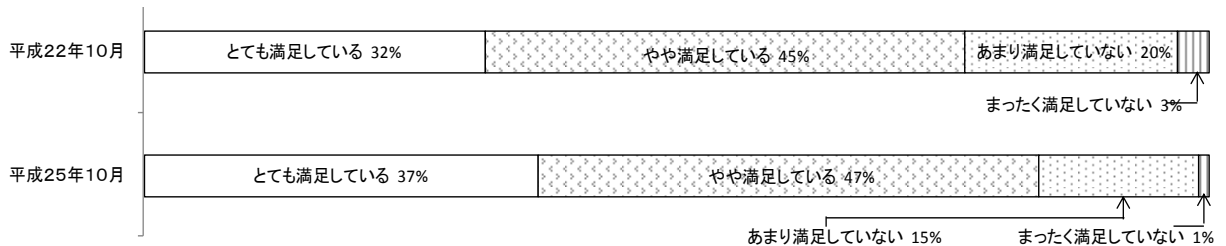
- (4) Call 教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をとおして国際人としての視野が広がる。



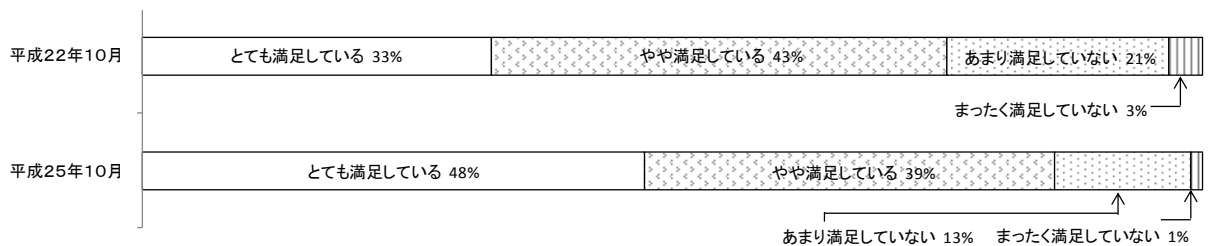
- (5) 子どもが高校の先生による専門的な指導を受けることができる。



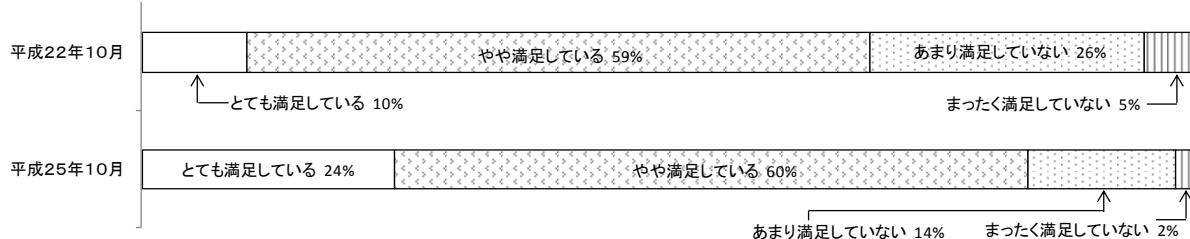
- (6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、子どもが学習内容をきちんと理解できるよう努力している。



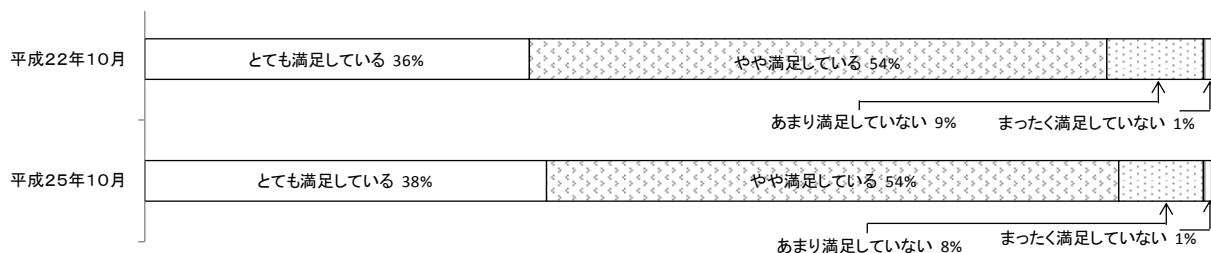
- (7) 高校生と共同の学校行事（陸上競技大会・飛翔祭等）や部活動・生徒会活動が充実している。



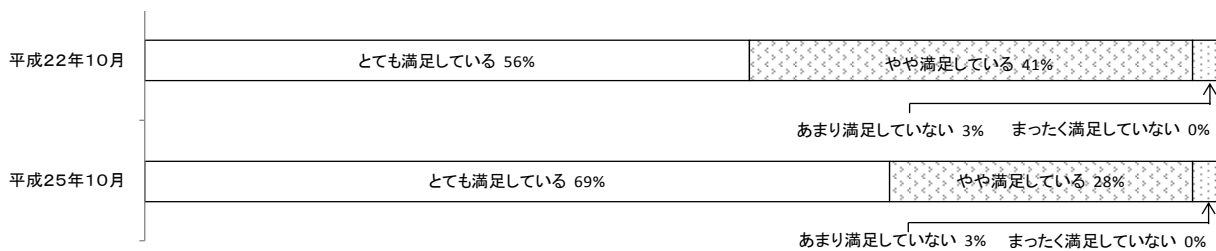
(8) 生活に関する相談や指導が充実している。



(9) 中学特別教室棟(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。



(10) 総合的に判断すると附属中に満足している。

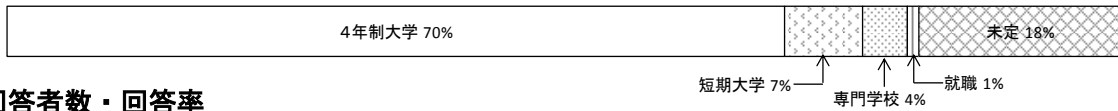


〈回収率〉

市立稲毛高校附属中第3学年生徒及び稲毛高校第1学年内進生の保護者	アンケート回収数	回収率
160人	144	90.0%

ウ 卒業生対象 (平成24年度稲毛高校普通科卒業生)

1 回答者の高校卒業後の進路について



2 回答者数・回答率

	内進生	外進生	合計
回答者	30人	61人	91人
回答率	38%	31%	33%

3 (内進生のみ回答)

a 中学時代に市立稲毛高校の生徒と同じ校舎で学んだことが、学習意欲の向上につながったか。

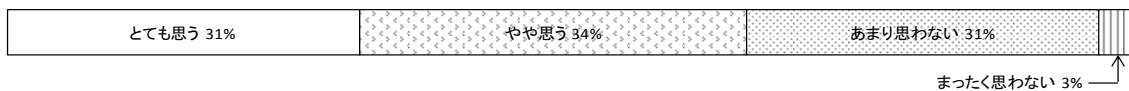


b 高校1年時に同じ学年に外進生が入学してきたことは、学校生活における意欲の向上につながったか。

ア 学習や進路を考える場面



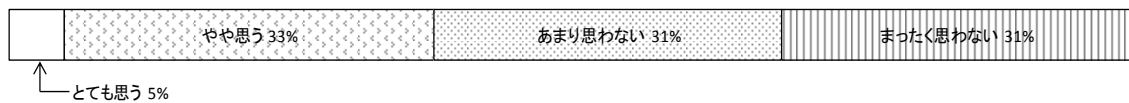
イ ア以外の学校生活全般を行う場面



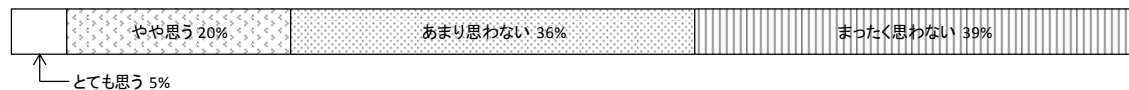
4 (外進生のみ回答)

高校1年時に同じ学年に内進生が在籍していたことは、学校生活における意欲の向上につながったか。

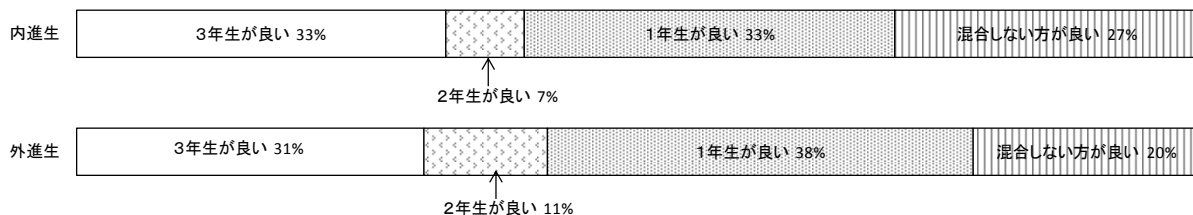
ア 学習や進路を考える場面



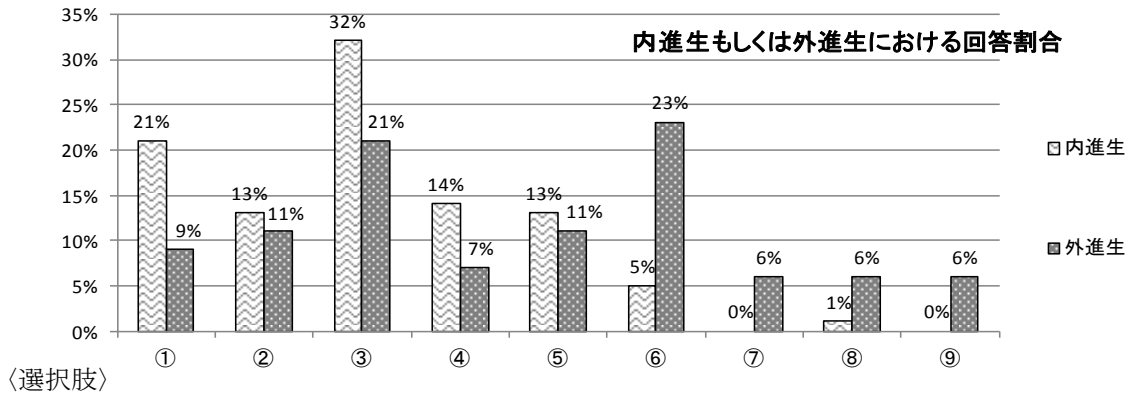
イ ア以外の学校生活全般を行う場面



5 内進生と外進生の混合クラス編成になる時期について

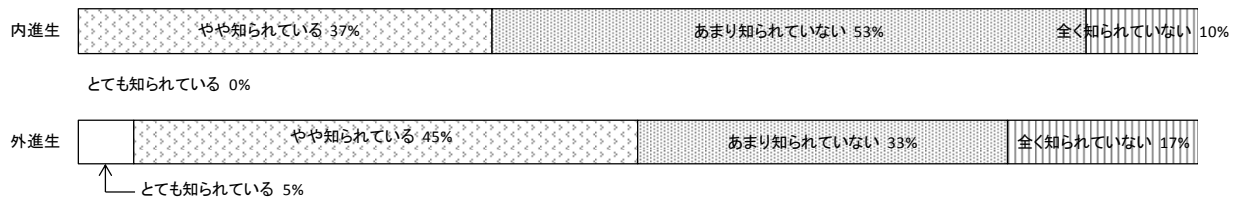


6 「市立稲毛高校の魅力や特色」は、何か。(複数回答可)



- ① 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している
- ② 文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをとおして、総合的に学力を向上することができること
- ③ Ca11 教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高めること
- ④ 国際交流活動をとおして国際人としての視野が広まること
- ⑤ 中高一貫校による中学生と共同の学校行事（陸上競技大会・飛翔祭等）があり、盛り上がる
- ⑥ 文武両道で部活動・生徒会活動が活発に行われていること
- ⑦ 進路指導における実績があること
- ⑧ 大学や企業との連携による授業が豊富にあること
- ⑨ その他 [記載内容]
 - ・個性があり、魅力的な人が多い
 - ・先生方が良かった
 - ・吹奏楽部
 - ・生徒会全体が学校行事へ積極的に参加する
 - ・ない（2件）他

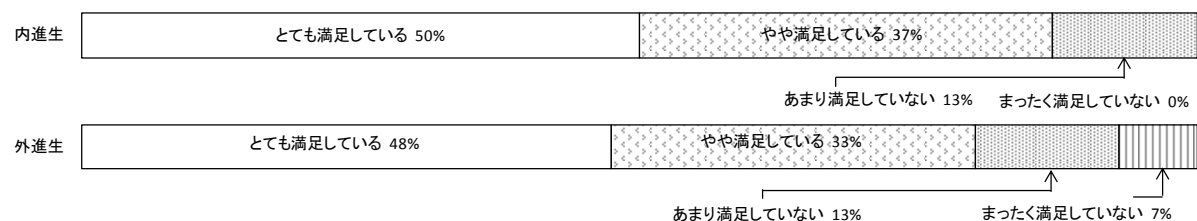
7 「市立稲毛高校の魅力や特色」は市立稲毛高校以外の友人や後輩に知られているか。



8 市立稲毛高校を卒業して、「真の国際人」に近づけたと思うか。



9 市立稲毛高校(附属中学校)に進学したことを満足しているか。



(参考4) 市立稲毛高校・附属中学校【生徒用アンケート】

千葉市教育委員会

あなたの学校生活についてのアンケート(市立稲毛高等学校附属中学校3年生・稲毛高等学校普通科1年生[内進生]対象)

このアンケートは、皆さんに学校生活の様子をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。
回答はすべて枠内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

1 あなたの高校卒業後の進路希望について、あてはまる番号を一つだけ選んでください。
① 4年制大学 ② 短期大学 ③ 専門学校 ④ 就職 ⑤ 未定
1の回答… ① ② ③ ④ ⑤

2 あなたは部活動に入っていますか。
① 加入している ② 加入していない
2の回答… ① ②

3 あなたが小学校6年生の時、稲毛高等学校附属中学校(以下「附属中」と言います。)を受検するにあたり、次の各項目について、どの程度重視しましたか。(1)～(8)までそれぞれ当てはまる番号を一つだけ選んでください。
① とても重視した ② やや重視した ③ あまり重視しなかった ④ ほとんど重視しなかった

(1) 高校受検がなくそのまま稲毛高校に進学できる。 (1)の回答… ① ② ③ ④

(2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。 (2)の回答… ① ② ③ ④

(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。 (3)の回答… ① ② ③ ④

(4) Call教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修がある。また国際交流活動が充実している。 (4)の回答… ① ② ③ ④

(5) 中高の先生が共同して教えている。 (5)の回答… ① ② ③ ④

(6) 高校生との交流があり中高共同の活動(部活動・行事・生徒会等)が行われている。 (6)の回答… ① ② ③ ④

(7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。 (7)の回答… ① ② ③ ④

(8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。 (8)の回答… ① ② ③ ④

4 あなたが小学校6年生の時、附属中を受検するにあたり、附属中の情報をどこ(誰)から得ましたか。主なもの一つだけ選んでください。
① 小学校の先生 ② 附属中の学校説明会・見学会 ③ 附属中のホームページ ④ 保護者 ⑤ 塾 ⑥ 受験雑誌 ⑦ 友だち
⑧ 特に情報を得ないまま受検した
4の回答… ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

5 これまでの附属中の生活を振り返って、次の項目についてどのくらい満足していますか。
下の(1)～(10)にそれぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。
(高1の皆さんは中学校時代を思い出して答えてください。)

① とても満足している ② やや満足している ③ あまり満足していない ④ まったく満足していない

(1) 高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組みることができる。 (1)の回答… ① ② ③ ④

(2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。 (2)の回答… ① ② ③ ④

(3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをとおして、総合的に学力を向上させることができる。 (3)の回答… ① ② ③ ④

(4) Call教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をおして国際人としての視野が広がる。 (4)の回答… ① ② ③ ④

(5) 高校の先生による専門的な指導を受けることができる。 (5)の回答… ① ② ③ ④

(6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、生徒が学習内容をきちんと理解できるよう努力している。 (6)の回答… ① ② ③ ④

(7) 高校生と共同の学校行事(陸上競技大会・飛翔祭等)や部活動・生徒会活動が充実している。 (7)の回答… ① ② ③ ④

(8) 生活に関する相談や指導が充実している。 (8)の回答… ① ② ③ ④

(9) 中学特別教室棟(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。 (9)の回答… ① ② ③ ④

(10) 総合的に判断すると附属中に満足している。 (10)の回答… ① ② ③ ④

中高一貫教育についてのアンケート(市立稲毛高等学校附属中学校3年生・稲毛高等学校普通科1年生[内進生]保護者対象)

このアンケートは、保護者の皆様に中高一貫教育に関するご意見をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。回答はすべて枠内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

- 1 お子様稲毛高等学校附属中学校(以下「附属中」と言います。)を受検するにあたり、次の各項目について、どの程度重視しましたか。

(1)～(8)までそれぞれ当てはまる番号①～④を一つずつ選んでください。

- ① とても重視した
② やや重視した
③ あまり重視しなかった
④ ほとんど重視しなかった

- (1) 高校受検がなくそのまま稲毛高校に進学できる。
(1)の回答… ① ② ③ ④
- (2) 中高一貫教育目標として「真の国際人の育成」を掲げ、確かな学力・豊かな心・調和のとれた体力を身につけたバランスの取れた生徒の育成を目指している。
(2)の回答… ① ② ③ ④
- (3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目など特色ある教育を行っている。
(3)の回答… ① ② ③ ④
- (4) Call教室やネイティブ講師を活用し先進的な英語教育を行い、高校進学後に海外語学研修がある。また国際交流活動が充実している。
(4)の回答… ① ② ③ ④
- (5) 中高の先生が共同して教えている。
(5)の回答… ① ② ③ ④
- (6) 高校生との交流があり中高共同の活動(部活動・行事・生徒会等)が行われている。
(6)の回答… ① ② ③ ④
- (7) 中学生が高校の施設・設備を使うことができる。
(7)の回答… ① ② ③ ④
- (8) 公立なので経済的であり新たな公立中学校の選択肢である。
(8)の回答… ① ② ③ ④

- 2 お子様小学校6年生の時、附属中を受検するにあたり、附属中の情報をどこ(誰)から得ましたか。主なもの一つだけ選び○を塗りつぶしてください。

- ① 小学校の先生 ② 附属中の学校説明会・見学会 ③ 附属中のホームページ
④ お子様 ⑤ 塾 ⑥ 受験雑誌 ⑦ 友だち
⑧ 特に情報を得ないまま受検させた
2)の回答… ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

- 3 附属中で、次の項目についてどのくらい満足していますか。(1)～(10)までそれぞれ当てはまる番号を一つずつ選んでください。

- ① とても満足している
② やや満足している
③ あまり満足していない
④ まったく満足していない

- (1) 高校受検を意識せずに学習や諸活動に取り組むことができる。
(1)の回答… ① ② ③ ④
- (2) 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実している。
(2)の回答… ① ② ③ ④
- (3) 6年間の継続的な学習指導と先取り教育、文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをとおして、総合的に学力を向上させることができる。
(3)の回答… ① ② ③ ④
- (4) Call教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高め、多彩な国際交流活動をおとして国際人としての視野が広まる。
(4)の回答… ① ② ③ ④
- (5) 高校の先生による専門的な指導を受けることができる。
(5)の回答… ① ② ③ ④
- (6) 授業を工夫したり補習を充実させたりして、生徒が学習内容をきちんと理解できるよう努力している。
(6)の回答… ① ② ③ ④
- (7) 高校生と共同の学校行事(陸上競技大会・飛翔祭等)や部活動・生徒会活動が充実している。
(7)の回答… ① ② ③ ④
- (8) 生活に関する相談や指導が充実している。
(8)の回答… ① ② ③ ④
- (9) 中学特別教室(多目的ホール)を活用できるとともに、高校の施設設備を使うことができる。
(9)の回答… ① ② ③ ④
- (10) 総合的に判断すると附属中に満足している。
(10)の回答… ① ② ③ ④

以上で質問項目は終了です。ご協力、ありがとうございました。

(参考6) 市立稲毛高校・附属中学校【平成24年度普通科卒業生用アンケート】

市立稲毛高校普通科卒業生用アンケート

千葉市教育委員会

このアンケートは、平成24年度市立稲毛高校普通科を卒業した皆さんに「千葉市立高校改革」に関するご意見をお聞きし、今後の教育に役立てる目的で実施します。なお、提出されたアンケートについては、この目的以外には使用いたしません。回答のマークシート部分はすべて枠内のマーク欄を鉛筆もしくは黒ボールペンで丁寧に塗りつぶしてください。

1 あなたの高校卒業後の進路について、当てはまる番号を一つだけ選んでください。

- ① 4年制大学 ② 短期大学 ③ 専門学校 ④ 就職 ⑤ 未定

1の回答

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

2 あなたは内進生(附属中学校から入学)ですか。外進生(高校から入学)ですか。

- ① 内進生 ② 外進生

2の回答

1	2
---	---

→内進生は質問3へ。外進生は質問4へ進んでください。

3 a あなたは中学時代に市立稲毛高校の生徒と同じ校舎で学んだことが、学習意欲の

向上につながったと思いますか。

- ① とても思う ② やや思う
③ あまり思わない ④ まったく思わない

3aの回答

1	2	3	4
---	---	---	---

b 高校1年時に同じ学年に外進生が入学してきたことは、学校生活における意欲の向上

につながったと思いますか。下のア、イの場面ごとに番号①～④から選んでください。

- ① とても思う ② やや思う
③ あまり思わない ④ まったく思わない

ア 学習や進路を考える場面

アの回答

1	2	3	4
---	---	---	---

イ ア以外の学校生活全般を行う場面

イの回答

1	2	3	4
---	---	---	---

→ 内進生は質問5へ進んでください。

4 高校1年時に同じ学年に内進生が在籍していたことは、学校生活における意欲の向上

につながったと思いますか。下のア、イの場面ごとに番号①～④から選んでください。

- ① とても思う ② やや思う
③ あまり思わない ④ まったく思わない

ア 学習や進路を考える場面

アの回答

1	2	3	4
---	---	---	---

イ ア以外の学校生活全般を行う場面

イの回答

1	2	3	4
---	---	---	---

→ 外進生は質問5へ進んでください。

5 高校3年時に内進生と外進生の混合クラス編成になりましたが、この時期について、

あなたは どう思いますか。

- ① 3年生で良かった ② 2年生から良かった
③ 1年生から良かった ④ 混合しない方が良かった

5の回答

1	2	3	4
---	---	---	---

6 卒業後にあなたが考える「市立稲毛高校の魅力や特色」とは、どんなものだと思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)

- ① 「真の国際人」を育成するために、学習指導だけでなく多様な体験活動等を通じて心と体の教育も充実していること
② 文系理系にかたよらない学習内容、少人数指導、標準より多い授業時数、学校独自の設定科目などをおおして、総合的に学力を向上することができること
③ Call教室やネイティブ講師を活用した先進的な英語教育により英語力を高めること
④ 国際交流活動をおおして国際人としての視野が広がること
⑤ 中高一貫校による中学生と共同の学校行事(陸上競技大会・飛翔祭等)があり、盛り上がること
⑥ 文武両道で部活動・生徒会活動が活発に行われていること
⑦ 進路指導における実績があること
⑧ 大学や企業との連携による授業が豊富にあること
⑨ その他(記載してください)

6の回答(複数回答可)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---

7 質問6の「市立稲毛高校の魅力や特色」は市立稲毛高校以外の友人や後輩に知られていると思いますか。

- ① とても知られている ② やや知られている
③ あまり知られていない ④ まったく知られていない

7の回答

1	2	3	4
---	---	---	---

8 市立稲毛高校はハイレベルな英語力、国際理解、実践的コミュニケーション能力を通して国際人の育成を目指しています。あなたは市立稲毛高校を卒業して、「真の国際人」に近づけたと感じますか。

- ① とても感じる ② やや感じる
③ あまり感じない ④ まったく感じない

8の回答

1	2	3	4
---	---	---	---

9 今、振り返り、あなたは市立稲毛高校(附属中学校)に進学したことを満足していますか。

- ① とても満足している ② やや満足している
③ あまり満足していない ④ まったく満足していない

9の回答

1	2	3	4
---	---	---	---

千葉市立高等学校改革の評価・検証～最終まとめ～

資料編 各種調査の結果 平成26年3月

千葉市教育委員会教育総務部企画課

学校教育部学事課

〒260-8730 千葉市中央区問屋町1-35

千葉ポートサイドタワー12階（企画課）

11階（学事課）

☎ 043-245-5908（企画課） 043-245-5928（学事課）